

JARL CONTEST REVIEW

2002 全市全郡コンテスト 12 - 13 October, 2002

2002年10月12日～13日に開催された全市全郡コンテストの CONTEST REVIEW です。今回は入賞者コメントは電話部門シングルオペオールバンド優勝の7M4RJB/1 巴月 甫さん, 電信部門シングルオペ 21MHz バンド優勝の JI7LZL / 2 高橋 幸治さん, 電信電話部門シングルオペ 3.5MHz バンド優勝の JE1CKA 熊谷隆王さん, 電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド優勝の JO3JYE 出羽盛彦さん, 電信電話部門シングルオペ 21MHz バンド優勝の JR1HHF 肥後 卓治さんからいただきました。

ドナー盾

今回のコンテストでは, 下記の方にドナー楯が贈られました(カッコ内ドナー)。

- 電話部門シングルオペ・ニューカマー種目全国1位 7N4JPG (7N4JZK)
- 電話部門シングルオペ・ニューカマー移動局全国1位 7N4IIB/1 (アウト・ドア JG1KTC)
- 電話部門シングルオペ・ニューカマー種目石川県1位 該当局なしのため次年度へ繰り越し (JARL 金澤クラブ)

- 電話部門シングルオペ・ニューカマー種目信越地方1位 JJ0JDK (JA0BFA)
- 電信部門シングルオペ・50MHz バンド種目全国1位 7M4XEO/1 (JI1ACI)
- 電信部門シングルオペ・オールバンド種目 QRPp 全国1位 該当局なしのため次年度へ繰り越し (JF3AOK)
- 電信部門マルチオペ・2波種目全国1位 JK6SEW (きゅうあ～るえるクラブ)
- 電信電話部門シングルオペ・オールバンド全国1位 JH4UYB (Japan DX Association)
- 電信電話部門シングルオペ・50MHz バンド種目全国1位 JR1ERU/1 (JA1AN)
- 電信電話部門シングルオペ・144MHz バンド種目 20W 以下埼玉県1位 JH1DOD (JO1GJB)
- 電信電話部門マルチオペ・2波種目全国1位 JA8CDT (きゅうあ～るえるクラブ)
- 電信電話部門マルチオペ・ジュニア全国1位 JA1YAX (仙台～高ハムクラブOB会)
- 電信電話部門マルチオペ・ジュニア種目中学生以下のクラス全国1位 JN1ZST (JA7YCCQ)

全市全郡コンテスト 入賞者レポート

今回、電話部門シングルオペオールバンドで入賞した1名、電信部門および電信電話部門シングルバンドで入賞した4名からレポートをいただきました。全市全郡コンテストは使われるバンド数が多く、電信部門・電信電話部門オールバンドでの入賞はなかなか厳しいですが、シングルバンドであれば設備もそれほど必要なく、作戦次第で入賞することが可能です。ぜひ、今後の参考にしてください。

コンテストを楽しむこと

電話部門シングルオペオールバンド優勝

7M4RJB/1 巴月 甫

バンド	得点	マルチ
3.5MHz	90	82
7MHz	138	114
21MHz	29	22
28MHz	7	5
50MHz	96	67
144MHz	120	79
430MHz	176	99
1200MHz	24	20
合計	680 ×	488 = 331,840

プロフィール

JJ1ZWU にて、コンテストに出会い、1998年に開局。その後、コンテストに参加するようになる。

使用機材

リグ：FT-767, FT-736, TS-830

アンテナ：3.5, 7MHz IV, 21, 28MHz 2エレ, 50MHz 6エレ, 144, 430, 1200 GP, 10エレ, 15エレ, 18エレ

ソフト：zlog for Windows

移動機材：発電機 (EF800), 伸縮ポール 12mh・8mh

なぜこの部門を選んだか

お手軽にマルチバンドで参加し、入賞することを目標に電話部門にエントリーしました。

獲得目標

600QSO と V/UHF 帯で全体の3分の2以上のQSOをするということを目指しました。あと、マルチバンドで参加するからには、とにかく寝ないということ！！

コンテスト当日の行動

移動先は近所の土手なので昼過ぎに設営を開始。特に、問題もなく夕方にはアンテナを上げ終わり、自宅ですっきりと夕食をとる。

スタートから終了まで

50MHz からスタート。混信から逃れるためにバンドの上のほうで CQ を出していたせいかポツポツとしか呼ばれずスタートダッシュに失敗。1200MHz, 28MHz, 21MHz と QSY し、早くも 23 時台には 144MHz へ、そして 430MHz に行き共にいい調子で呼ばれる。01 時台後半には 3.5MHz で地道に QSO 数を稼ぎ出す。03 時過ぎには行き場を失い、それとともに睡魔に襲われる。すぐに戦線復帰し 7MHz をのぞくもずいぶんスキップしている模様。呼んでも全く呼ばれない。仕方なくまた寝たのだが……。起きてみると時計は 7 時を回っていた、完全に寝坊で

ある。たくさん寝たせいか、頭もすっきりしている状態の中、7MHz もなんとか局数をこなす。その後は V/UHF で局数を積み重ねた。12 時台の 7MHz、17 時台の 3.5MHz でうまくローバンドも上積みをして、最後は 430MHz でフィニッシュ。

反省点

なんといっても、4 時過ぎに 3 時間も寝てしまったこと。おかげで、その後は楽でしたが。あとは、予想以上に 50MHz の局数がこなせなかったこと。14 時過ぎから終了まで止むことなく S3~5 のノイズが出ていて、強く入感する局としか交信できなかった。スタートダッシュに失敗したのが最後まで響いてしまった。朝方に寝てないで、50MHz に出るべきだったと。

結局、目標の V/UHF で全体の 3 分の 2 以上の QSO というのは達成できなかったが、これは予想していたよりもローバンドで局数がこなせたことが原因であり、結果的には満足の行くものでした。次回からは、もっとロケーションの良いところから参加しようかなと。

アドバイス

目標を持って参加することによって充実した時間を送れるでしょう。そしてコンテストは、最後まであきらめずにがんばることで、最後にはとても気持ち良い達成感を得ることができます。とにかく、睡眠に負けない強い精神力を持つことでしょうか。皆さんもコンテストを楽しみましょう！！

移動運用は安全第一で

電信部門シングルオペ 21MHz バンド優勝

J17LZL / 2 高橋 幸治

バンド	得点	マルチ
21MHz	192	147
合計	192	× 147 = 28,224

プロフィール

1987~1991 年 JA7YCQ に所属。当時アマチュア無線の事は全く知らなかったが、なんとなく興味を持ち入部したのがはじまり。その後、コンテストにだんだんはまって行く。

1988 年個人局開局、主に HF に QRV。数々のコンテストに参加。一時、局免許を切らしてしまっていたが、2000 年転勤を機にコールサイン復活。

最近の活動は JK1YMM / 2 にてフィールドデーコンテストに参加するのが主になっているが、たまに個人で移動運用でコンテストに参加。

使用機材

IC - 746, 3 エレ八木, パソコン, zLog, テント, 発電機

なぜこの部門を選んだのか

全市全郡コンテストはまだ入賞経験が無かったので入賞を狙える部門という事と、運用する機会が多く慣れている 21MHz。コンテスト開始直前、設営で疲れたためか喋るのが面倒に感じたので電信部門にした。

獲得目標

300QSO, 入賞すること。

改善・強化した点

移動場所は人力で機材の運搬が必要な場所なので、ローテータは使用しないなど機材はできるだけ最小限とし、体力温存を重視とした（その割にはしっかり寝てしまいました）。

どんな準備をしたのか

慣れている移動場所、バンドという事もあり特にこれといった準備はしていないが、全市全郡コンテスト前に忘れてならないのが、ロギングソフトを使う場合、市郡データの最新版を準備する事。

コンテスト当日

当日朝、自宅を出発。移動場所である静岡県賀茂郡と一緒に運用する仲間と合流。お互い協力しながら機材を運搬しアンテナ、テント等を設営。設営途中、50MHzに参加予定の仲間のアンテナがトラブル。急遽他のバンドへ参加するためアンテナの準備を手伝う。なんとか間に合いコンテストスタート。

スタートから終了まで

スタート直後、仲間とおたがいの周波数間がかぶる事に気づく。事前のチェックが十分にできなかったので仕方がなかったがお互い運用に支障をきたすほどひどいかぶりであった。

仲間は少々やる気を失ってしまい棄権すると言い、私は申し訳ないと思いながらも運用を続けた。一人になったこともあって気合いが抜けてしまい、QSO数がさほど伸びない初日の夜は早めに就寝。

次の日の朝は着々とQSO数は延びるが昼ころペースが落ちてくる。ここで仲間は帰る事になり、一人になってしまった。

ここまで思ったほどのペースではないので入賞は無理だろうし私もやめようかと思ったが、ここでやめたら私に譲って棄権した仲間に悪いし、夕方になるにつれてにコンディションが良くなる時間が必ずあると思い、「できるだけやってみよう」と運用を続けた。

しかし、一人になってしまったので明日天候が悪化した場合、撤収が困難になってしまうのもうー泊してのフル参加はこの時点であきらめた。と言うのは、この場所で以前、強風で夜中テントがつぶさ

れた経験があり一人でその状況になった場合、大変危険なのでそう決断した。

撤収の時間を考え14時をリミットと考えたがペースが良くなってきたのと天候も良かったので結局15時半まで粘り運用を終了した。撤収が終わる頃、日が沈み暗くなったので丁度いい時間にやめたと思う。

反省点

結果は192QSO × 147 マルチで昨年までの結果と比べると全国入賞はできそうもない点数だったが運良く全国1位であった。結果を見て驚いたが、2位の方と1QSOと1マルチ差。最後まであきらめず粘る事の重要さを改めて思い知らされた。

アドバイス

最後まであきらめない。しかし、移動運用の場合には安全第一で。

極めるのは難しいが、面白い

電信電話部門シングルオペ 3.5MHz バンド
優勝

JE1CKA 熊谷隆王

バンド	得点	マルチ
3.5MHz	418	303
合計	418 ×	303 = 126,654

プロフィール

海外との交信がしくて、1966年に電話級を取得しました。それからしばらくはDXに明け暮れていましたが、同時にコンテストにも積極的に出るようになりました。1985年頃にはDXCCへの興味を失い、以後DXコンテスト中心に運用してきました。1990-1986年にかけてはKH0AMでCQWWDXコンテストのマルチ・マルチ部門のワールドトップを狙って挑戦しました。しかし、世界の壁は厚く実現

はなりませんでしたが、未だにオセアニアレコードを保持しています。

国内コンテストには、30年以上前に1度オールJAに出て入賞したくらいで、それ以後全く興味がありませんでした。しかし、2年前から急に国内コンテストに興味を沸き、特にFDでの記録更新をしようとJI2ZLXメンバーと活動を共にするようになってからは、その修行を兼ねて私の担当バンドである3.5MHzでの運用を中心に据えるようにしています。

なぜこの部門を選んだのか

今回もFDでの修行のため、X35Mパワー部門に出ることにしました。しかし、Mは50Wだと思い込んでいたため、固定からの運用でしたが50Wで運用しておりました。たまたま、今回はハイパワー部門で一生懸命やられている方がいなかったため、初参加で優勝することが出来てしまいました。

使用機材

常設でアンテナは上げていないため、前日に屋上で予行演習を行い、当日午後5時くらいからアンテナ設置を始めました。FAP714を番線で固定し、半波長逆Vアンテナを引き上げました。給電部の地上高は25m程度ではないかと思えます。zLog for Winを使用しましたが特別な周辺機器は何も使用していません。

獲得目標

過去の結果を事前に検討して、目標を500局400マルチに設定しましたが、全市全郡に参加したことが無いので、作戦もへちまもなく、ただひたすらCQを出して呼んでもらう、というものでした。

コンテスト当日

パワーが50Wのため、CW中心の運用になるだろう、とは思っていたのですがCW：SSB=293：131

約7：3の比率となりました。

とにかく24時までには積極的にCQを出し、朝9時までは交信局数の伸びを考慮しながら運用していくつもりでした。

9時から14時までには完全休養をとりました。その時間帯でも1時間に数局程度は出来るのかもしれませんが、日曜日の夕方に集中して運用すれば、十分取り返せるだろうと思ったからです。

この間に仮眠をとったり風呂食事をすませ、14時から聞き始めましたが、実質的には16時にならないとほとんど使えませんでした。

反省点

500局という目標は、市街地から50Wで達成するのはかなり難しい気がしますが、移動してSSB/CWの運用配分を考慮すれば可能だと思います。何とか達成してみたいとは思っていますが、来年はクラブ対抗に貢献するためオールバンドに出ることになるでしょう。

アドバイス

なぜ、コンテストを20年以上続けているんだろう？と自問してみると、DXCCとは異なりコンテストの結果には過去の実績は反映されません。前回優勝したからと言って、次回も優勝できる保証は余りありません。

設備の増強、戦略のたて方、コンディションの把握等、スコアを左右する要素は数限りなくあり、その時点で判断し選択していくことにより、最終スコアが決まってきます。

CW/SSBの変更、CQを出すかマルチを探すかなど、コンテスト中に判断すべき事はいくつもあります。その判断でスコアが変わり、非常に高度な『ゲーム』としての魅力に溢れていて、仲々極めるのは難しいものですがそれだけに面白いと感じています。

進化し続けているから楽しい

電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド優勝

JO3JYE 出羽盛彦

バンド	得点	マルチ
14MHz	453	309
合計	453 ×	309 = 139,977

プロフィール

常置場所 兵庫県赤穂市, 自宅は大阪府門真市, コンテストなどにあわせて兵庫県赤穂市の実家に通っております。このスタイルになってはや 10 年。4 年ほど前に借家から脱してマンション住まいになりました。今では仮設でアンテナをあげて運用することもできますが, インターフェアーや外観の問題などから自粛しています。

コンテスト歴は, 13 年程度で, 国内・国外を問わず参加しています。(ここ 3 年ぐらい, DX コンテストの CW 部門を中心にしていました。) 高校生の時に開局し, 10W + マルチバンド GP の頃からコンテストには参加しています。本格的に始めたのは学生時代のクラブ局 (JA3YQD) からで, 入賞したことが弾みになりドンドンのめり込んでいきました。就職後も, 毎日運用できるような環境が無いため, 日時が決まっているコンテストを中心にしています。

主な設備

タワーを建ててから滅多に移動運用をしなくなりました。常設は以下です。

リグ: TS-930S (改), FT-1000MP, TS-850S, FT-726 など

アンテナ: 3.5MHz 短縮の INV @10mH

7MHz R40MDX (短縮 RDP) @18mH

14-28MHz TH5mkII(hy-gain 製) @15mH

50MHz 4eleHB9CV @16mH

手動巻き上げのクランクアップタワー 1 本に積み

重ねています。50MHz までです。

ロギングは zLog for Win を使っています (パソコンは自作 PC)。小物はヘッドセットやフットスイッチ, ボイスレコーダー, メッセージキーヤーほか。小物の大半が自作品です。

機材配置は, いすに座った状態で手を伸ばせばリグ, PC の操作から, アンテナ切り替え, ローテーターの操作まですべてできるように配置しています。難点はスペースの都合で視線の移動が上下でなく左右が多くなっていることです。

部門選択と戦略

今回の部門選定は ALL JA と同じ部門にしました。伝搬状況や参加局動向が異なってきますが, 前はコンディションに恵まれず苦戦したので, 再挑戦する事にしました (JARL4 大コンテストで 14MHz シングルバンドの参加はこれが 2 回目)。

全市全郡の場合, 局数 = マルチと言っても過言ではないと思います。基本方針は局数を積み上げることとし, 常に 1 時間当たりのレートを落とさないように RUN と S & P の組み替え, SSB・CW の QSY をする事にしました。

端っこのエリアではありませんから, 日が昇っている間しか局数が望めません。夜中は深追いせず, 割り切って寝ることにします。

電話と電信の比率。いつも通り電信を中心にしてみました。コンディションが悪くても何とかなる, 電信に局数が集中している, という傾向からも間違いのない選択ではないかと思います。コンディションが良くなったときは, 電話を優先します。

数値目標は局数で決定し, 350 局突破を目標としました。(ALL JA から 2 割ぐらい増やした局数) 過去に同じ部門で参加した場合, 過去のタイムチャートでペースを確認し, スコアを数値目標にしています (スコアの更新を目論んでいるんですが)。

コンテスト当日

初日は 20 時まで仕事でした。大阪市内の職場から兵庫県赤穂市の実家まで電車で帰りますが、2 時間近くかかってしまいます。この時点で 9 時からの参加は不可能となってしまいました。

到着してからタワーを巻き上げ、リグと PC の立ち上げを急いでこなし、23 時台でやっと運用開始。しかし、すでに国内は極一部の局しか聞こえませんだったので、一巡しただけで切り上げました。

翌朝は 6 時半を過ぎてから電信で運用開始。弱いながらも正規伝搬で国内が聞こえていました。日が昇るにつれて局数も増え、コンディションの上昇も感じられました。

8 時台後半には、1 - 3 エリア間でオープン、予定通り SSB へ QSY するつもりが、途切れることなく呼ばれたためなかなか行動に移せず。

9 時台、一瞬呼ばれなくなったところで SSB へ QSY。すでに電話バンドは埋め尽くされ出る隙間がないように思われましたが、S & P を続けているうちに、運良く隙間を見つけ、潜り込みました。このあとの 1 時間ほどドンドン呼ばれ続け一気に局数が積み上がりました。9 時台以降は、RUN で苦しくなれば、S & P に切り替えて未交信局を減らし、呼び尽くしたところでモードを切り替えるようにしました（呼ばれ始めると SSB のが CW よりレートはあがります。LAST10 で 180 局 / 時間をこえました）。

1 - 3 エリア間のオープンは正午をすぎても続きます。また同時に 6 エリア方面のパスも強くなってきました。それでも局数を重視したため、アンテナは 1 エリアの正規伝搬方向へ向けたままにして、大票田である 1 エリアを優先しました。ALL JA であれば、一度は西へ向けなければマルチが埋まらず苦戦したのではないかと思います（結局 6 エリア方向へ一度もアンテナを向けませんでした）。

15 時台から、局数が飽和傾向となってくる。パスがあるのに QSO する相手がいなくなり、サーチしても QSO 済みばかり。

16 時頃、正規伝搬からスカッター気味のエコー

がかかり始めました。ここで初めてビームをスカッター方向に切り替えましたが、レートの維持が難しくなり急速にバンドが静かになっていくのがわかります。

19 時をすぎると、強い 7 エリアや 8 エリアしか聞こえなくなりました。局数の積み上げもなく、そのままコンテストは終了。

総括すると

1 - 3 エリアのオープンにうまく乗れたので、半数近くが 1 エリアとなりました。反省点が残ったり、コンディションに見捨てられたりと、悔やまれることが多いのですが、今回はコンディションに恵まれ目標以上の結果を残すことができました。久しぶりに満足できる内容でした。

コンテストの楽しみ

いつでも自由に運用できる環境のない私にとって、必ず相手がいる（はず）のコンテストは絶好の運用チャンスです。

始めたころは、単にたくさん QSO できて楽しい、という素朴な楽しみでした。やがてオペレーションの楽しさを覚え、さらに楽しむために、さらなるスコアアップのために、ハード面へも興味をもつようになった、こんな感じで進化してきたようです。そして、今でも進化し続けているから楽しいのだと思っています。

コンテストを楽しむことを大事にしたい

電信電話部門シングルオペ 21MHz バンド優勝

JR1HHF (ex. JA0EOK) 肥後 卓治

バンド	得点	マルチ
21MHz	370	258
合計	370 ×	258 = 95,460

プロフィール

50 才を過ぎていますがコンテスト 24 時間フル参加はとっても体に堪えます,途中で寝ることにしています。職業はコンピュータ・メーカー勤務ですが,現在はハムで養った RF インターフェア対策技術を仕事の付加価値としてリストラの網の目を潜り抜けています hi

1KW の固定局を長野県と埼玉県にそれぞれ持っています, ALL - JA は長野から,そして全市全郡は埼玉から参加しています。

コンテスト暦は長くありません。アマ無線は高校生の時から楽しんでいますが,コンテストに参加するようになったのはここ数年です。ほとんどはチョイ参加なのですが,毎年 ALL - JA と全市全郡はお休みが取れる限り参加をしています。以前は移動局としての参加もしましたが昨今のコンディションでは厳しいものがあり,最近固定局からの参加となっています。

最近の結果は

2002 年 JA0EOK ALLJA 電信電話シングル
オペ 21MHz X21H 4 位
JR1HHF 全市全郡 電信電話シングルオペ
21MHz X21H 1 位
2001 年 JA0EOK ALLJA 電信シングルオペ
28MHz C28H 1 位
JA0EOK / 1 全市全郡 電信シングルオペ
28MHz C28M 1 位
2000 年 JR1HHF 全市全郡 電信電話シングル
オペマルチ FMH 7 位

主な設備

埼玉の主な設備としてはリグが FT-1000 に VL-1000 の 500W または 1KW,アンテナは自作の 15 エレ・ログペリです。アンテナは集合住宅の屋上にあり高さを楽に稼いでいますが,台風や春一番の風でローテーターがよく割れてしまいます。

ログは zLog を今年から使用していますが,CW を PC から送信するようにしたのは今回が初めてですが,とっても便利です。普段の QSO 時のログはデスクトップ PC にて管理していますが,コンテストはノート PC + zLog を使っています。FT-1000 は PC 用のインターフェースがありませんが,シングルバンドであればバンド欄が固定ですので問題はありません。今更ですが,欲しいな-----。

部門選択理由

睡眠時間が取れて,あわよくば入賞も狙えるハイバンドのシングルバンドということで選択しています。

更に,全市全郡コンテストはマルチの数で勝負が決まるので,マルチが近くにたくさんある関東からの参加としています。

2001 年は 28MHz シングルバンドに参加しましたので,2002 年は 21MHz シングルバンドへの参加としました。

獲得目標

特にコンテストの目標数字は決めていませんが,クラス 1 位になればいいという程度です。

しかし,以前 H クラスにて M クラスの得点より少ないということがありましたのでこれは避けたいところです。もっとも逆に M クラスに参加して H クラスより高得点のこともありました hi

過去のコンテストから改善・強化した点

今回から全面的にパソコン利用をしました。以前は紙ログに近い状態のために重複 QSO があってもその場で確認できずとても不便でした。PC + zLog を 100 % 使うようにして効率の良い QSO を心がけました。

また,睡眠時間を呼ばれなくなる 2 時前後から取るようにして,8 時前には起きてシャックに入るようにしています。貫徹はその後の数日間に影響がでますのでしないようにしています。

事前準備

特に事前準備といえることはしていません，強いていえばお休みの確保くらいなものです。コンテストに限りませんが，TVI 等が無いようにしておくことが大事です，TVI の電話が来て途中でリタイアなどということがないようにしています。

コンテスト当日

コンテストが始まると，ひたすら CQ を出して，呼ばれなくなったらニューマルチを探すというパターンです。マルチバンドですと大変ですがシングルバンドの気楽な点です。

反省点

毎回のことですが，朝早く起きれず 8，9 時になって再開ということが多く時間をロスしているので，前日の睡眠を多くして早く起きたいというのが反省事項です。

アドバイス

コンテストの醍醐味はマルチバンドでガンガンやることでしょうか，とにかく参加することと結果よりもコンテストを楽しむことを大事にしたいと思っていますし，皆さんにもお願いしたいことです。

今後の夢としては田舎のシャックからマルチマルチでコンテスト参加することです。

各局の得点とタイムチャート

今回，コメントを寄せていただいた各局のログを分析してみました。タイムチャートは QSO 数を時間軸で集計したもので，何時にどの程度 QSO していたのかがわかります。

7M4RJB 電話部門シングルオペオールバンド

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
3.5	-	-	-	-	10	40	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	24	-	2	-	90	
7	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	22	40	-	-	-	48	10	-	-	9	-	-	2	-	138
21	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	2	-	-	-	-	-	-	-	29
28	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7
50	37	-	-	-	18	-	-	2	-	-	-	10	14	-	-	-	10	-	-	1	-	3	1	-	96
144	-	-	53	-	4	-	-	-	-	-	-	-	28	13	-	-	-	-	17	-	-	-	5	-	120
430	-	-	-	47	10	-	-	-	-	-	-	-	-	11	15	-	-	21	-	-	13	24	10	25	176
1200	4	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
合計	41	32	53	47	42	42	7	7	0	0	22	50	42	33	22	53	22	21	17	17	37	27	21	25	680
累計			126			257			271			343			440			536			607			680	

J17LZL 電信部門シングルオペ 21MHz バンド

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
21	16	10	9	15	-	-	-	-	-	-	-	-	17	32	29	19	13	12	10	14	-	-	-	-	196
累計			35			50			50			67			147			182			196			196	

JE1CKA 電信電話部門シングルオペ 3.5MHz バンド

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	
3.5	53	40	66	44	25	33	19	8	12	8	9	7	3	-	-	-	-	1	-	19	24	23	12	12	418	
累計		159		261		300		324		327		328		371		418										

JO3JYE 電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	
14	-	-	3	-	-	-	-	-	-	5	39	43	62	50	45	31	43	55	31	22	13	9	3	-	454	
累計			3		3		3		3	90		247		376		442		454								

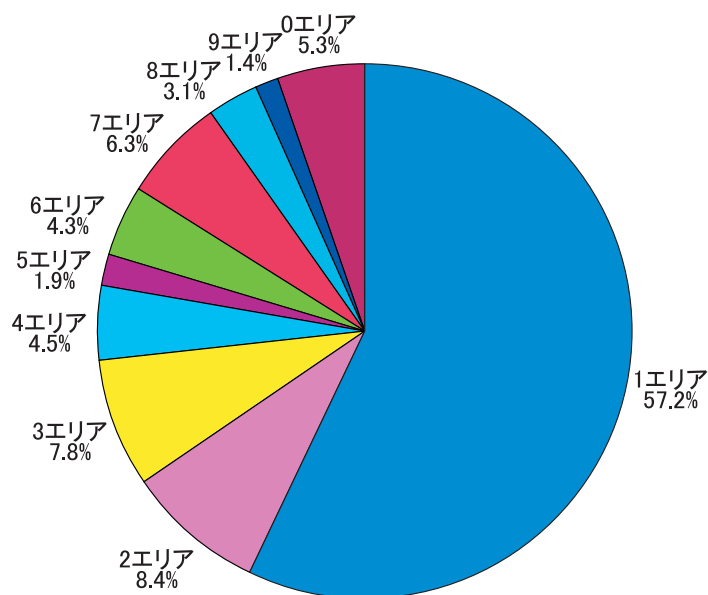
JR1HHF 電信電話部門シングルオペ 21MHz バンド

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	
21	40	38	17	7	9	-	-	-	-	-	-	26	28	17	24	20	23	17	26	16	14	23	16	9	370	
累計		95		111		111		137		206		266		322		370										

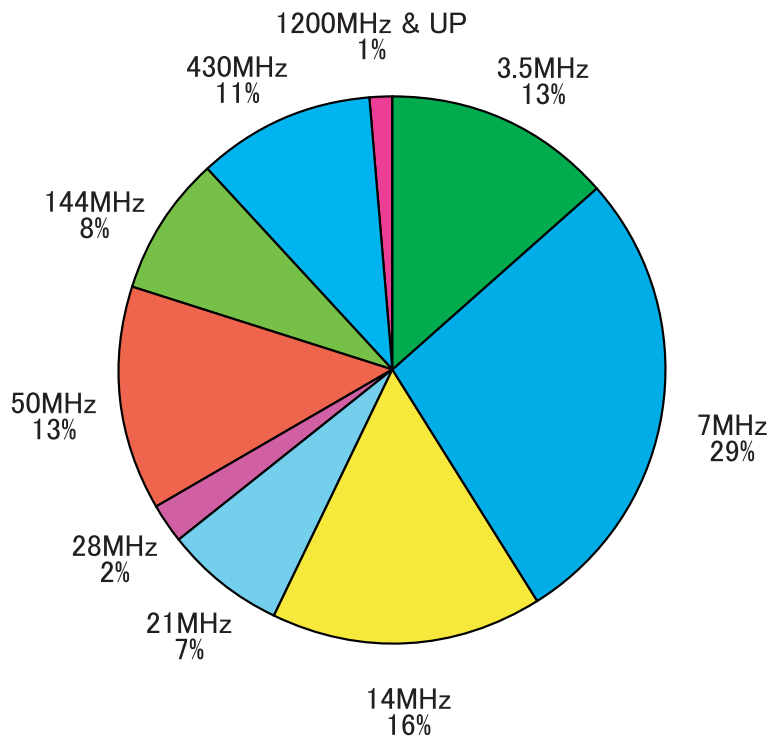
電子ログデータに見る QSO 分析

電子ログで提出していただいた 711 局，計 174,550QSO を対象として集計を行いました。

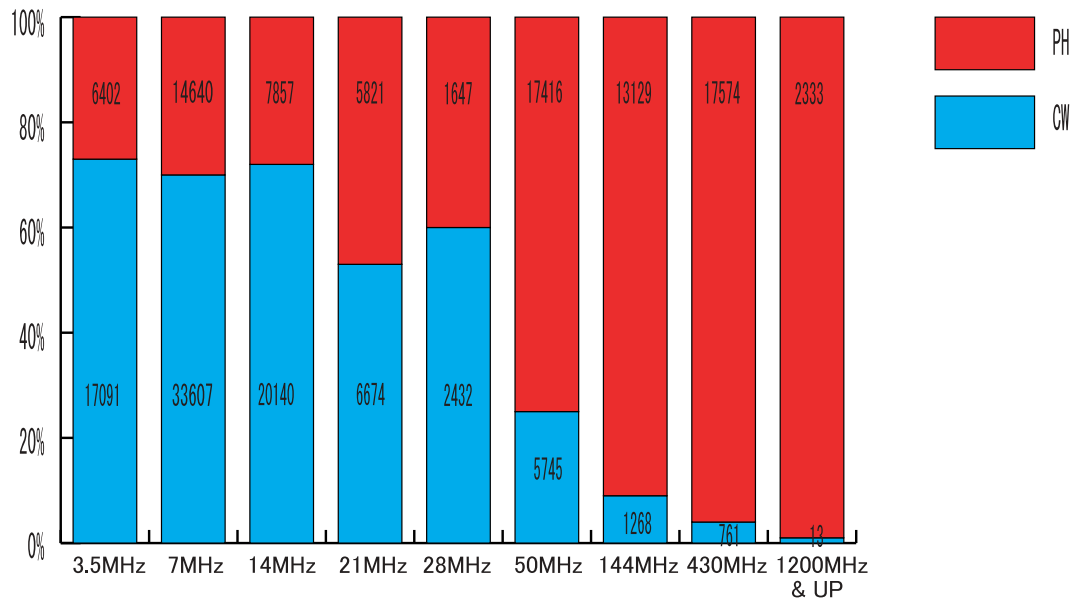
エリア別交信数



バンド別交信数



モード別交信比率



意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。文字の間違いを修正したり、語句の統一を行っているほかは記入された通りに掲載しております。ぜひ、2003 年も全市全郡コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想を書いていただき、写真なども寄せていただきたいと思います。

電話部門シングルオペオールバンド

7M4RJB/1: コンテスト中に寝過ぎてしまい、おかげで健康的なコンテストができました。

7N1BHO/1: 好天にめぐまれふらっと短時間参加。近所の堤に車を停めお手軽移動運用でした。

JL7XBN/1: 電話部門の参加資格は4級のみとしてもらえないでしょうか。

JM1DSC/1: 近くのクラブ局のカブリで伸び悩みました。

JM1LQI: 5歳の息子にコンテストの交信方法を覚えてもらうため、電話部門に参加してみました。ログ提出締切過ぎてしまったかと思い、焦りました HI。

JO1GJB: 事務局の皆様には集計作業ご苦労さまです。今回も参加させて頂きました。やはりメジャーなコンテストは賑やかでいいですね。たっぷり楽しませていただきました。ドナーによる各賞の行方がとても楽しみです。

JR2FWN/2: HF コンディションがいまいちで得点のびませんでした。天気に恵まれ楽しい移動運用でした。

JF3QND: ローバンドがにぎや

かでした。

JE9EYW: コンテストは好きなので出来る限り参加しています。

JA1QAI: 今回電話部門に初めて参加しました。町内のイベントがありましたのであまり長時間でられません。クラブに少しは協力できたかな？

7N4BGU: 久しぶりの常置場所からの運用でした。電話のVUHF マルチバンド部門があるといいんですが。

7N3AKG: 10局交信してからハムログ入力とログシート転記をするというサイクルが無事に終えることができました。PS. 区のコンテストナンバーは2ケタずつで区切りましょう。

7M4WAS: ログの申請は今回が初めてです。来年はもっとがんばりたいと思います。

JJ2MKP: 私は初のコンテストに参加してみました。旧コールサインで2002年6月6日に局免許を再取得しました。最初の局免許は昭和58年(1983年)でした。いままではコンテストは聞いているだけでしたが、他局の薦めで参加する事にしました。

JS1MBH: コンテストのおか

げで久しぶりにたくさんの局とQSO できました。

JE1CMO/1: 今年は昼休みにON THE AIR しました。

7L2NOJ: 電話部門に144, 430MHz の種目があってもよいのではないかと思います。

JJ1PSM/1: 毎日日曜日の身ながら雑用で忙しく、今年は初めての移動運用。目標500局がんばるぞ！と家をでたが移動地では仲間が宴会の準備万端。アンテナのテストもそこそこAC変調をかけた。21時少し前に無線機に電源をつなぎテスト。アンテナの調子わるく思うように電波は出ず、思うように電波はでなかったが、徐々に仲間と交信を深めた。

電話部門シングルオペ3.5MHzバンド

7N4JZK: 今回のコンテストは日曜の午前中が地区の催しで潰れた割に最後の追い込みで何とか形になりましたが、10Wでは強い局に挟まれると辛いものがあります。この状況でも粘り強く運用された局には脱帽です。

JA1RDT: 次回はがんばりたいと思います。

7K4MSS: とにかくがんばりま

した!

JN7WRE: 初めて、参加しました。ノイズが高いと10Wでは大変でした。

JR5PPN: 仕事の都合で夜だけの参加でした。来年も楽しみにしています。

電話部門シングルオペ 7MHz バンド

JH7ELZ: たのしくコンテストに参加できました。また参加したいですね。

JS3QWI: いつもありがたく参加させてもらっております。

JA7AOV: 部門を電信電話は廃止して電信、電話とスリム化を計り参加動向を集計出来るのでは(電信電話の別が)又は期日をずらしては(別々にオールアジアの様に)QRP種の復活をコードナンバーはP~Hの4部門(動表記に1年4回以上のコンテスト参加で5年連続参加等を計画してみてもは?

JH2KQR: 初めての参加です。ナンバー早く取れなかったです。

電話部門シングルオペ 21MHz バンド

JL3TMH: 参加局が激減しているので、24時間のコンテストは疲れる!もう少し時間短縮をしてほしい。

JS6BTO: やはり初日(12日)は21MHzは難しく、1日だけ(13日)の運用になった。去年よりはいい成績かな?

JE1WKI: 今年は秋晴れで行楽

に出た人が多いのか、去年より局数が伸びず、苦しいコンテストでした。

電話部門シングルオペ 28MHz バンド

JL7XVL: 今年もコンディション今一だったが楽しみました。

電話部門シングルオペ 50MHz バンド

JG6JRH/1: 場所柄だと思えますが他局にかぶりがありました、チーム性もありご迷惑をかけたようです、ご指摘いただいた局長さんありがとうございます。周波数を変え移動した為その後は指摘ありませんでした。今後も参加したいと思えますよろしくお願いたします。

JH2OJS/2: さらに参加者が少なくなっているように感じます。参加者の分散につながり逆効果かもしれないませんが、JARL主催の短時間コンテストやRTTYのコンテストなどを企画してみたいかがでしょうか。

JK3AHS: 久しぶりのコンテスト参加でした。来年度はがんばってアクティビティーをあげようと思っています。

JN1UEP/1: 1. VU帯は閑古鳥状態。VUマルチというような区分を考えられないか。2. この時期日暮れは早い。移動運用者の撤収のことも考え、終了はFDなどと同様15:00にしてはどうか。3. ログの提出期限はなぜこんなに早いのか。せめてコンテスト終了後2回の週末が欲しい。

JQ2SJM/2: 本当に局数が減ってきています。16時台に30分以

上の空振りCQで・・・17時できりあげました。

JL7BIS: パワー不足で採ってもらえなかったようです。

JA1ZV: このところ昼間西向きチームではノイズがひどい。伝搬状況NO良い午前中の3エリア方面がQSOが難しかった。

JI8NLS: 短時間ですが参加できました。参加者が少ないような気がします。

JH2JTW/2: 運用地の変更を県内限定でも良いから2ヶ所位認めて欲しい。

JR1EZW: 日程が第2月曜日の二日前から一日前なので、フル出場(寝る以外は)できて助かる。ALL JAも4月の最終土日にしてほしい。電話シングルバンドがあるのがうれしい(CWが打てないから・・・)。

JJ1CPN: 快晴の三連休とはいえ、参加者が少なすぎる。

JA5ND/3: 夜出られなかった事もあるが、年々局数が少なくなっている様に思います。

JF2FMY: 今年も参加できました。ただし、12日は仕事の都合で、13日になっての時間帯からの参加です。コール、レポートがうまく取れなく何度も聞きなおしているにもかかわらず59レポートは虚偽では?移動局と固定局のハンディー差が相当あるように思いますが得点比を考慮して欲しい!!

JA3WDL: カ一杯参加した結果が、この数字です。

電話部門シングルオペニューカマー

7N4TCG: 初めての参加です。

7N4UYK/1: 平日が休みのため日曜日にスポット参戦させていただきました。平日に開催されるコンテストがあればいいのですが。

JN4QIN/3: 9,0エリアの方と交信出来ました。

JJ5BXI/5: 初めて移動で21MHzを運用しました。コンディションが良くてたくさんの北海道局とつながって良かった。

JJ0JDK: 初めてのコンテスト参加でした。好天に恵まれ、大変いいコンテストでした。

7N4IIB/1: 他人のコールサインでナンバー交換している悪質な局があります。アマチュア無線周波数で業務として使用しているが目立ちます。

7N4OAM/3: 大阪府と奈良県の県境の金剛山で運用。時間が限られていたため、局数の多さを目指すのではなく、コンテスト参加に重点を置いた。

電話部門マルチオペオールバンド

JL3YEO: クラブで初めての本格?移動運用でした。

電信部門シングルオペオールバンド H

JA2QVP: 集計ご苦労様です。出張帰りで長時間の連続参加は体力が持ちませんでした。とりあえず目標の300局はクリアしました。

JG2TSL: 山シャックよりハイパワーで参加しました。睡眠時間

は1時間でしたが、今年は24時間完走できたので満足しています。楽しかった! QSOしていただいた皆さん、ありがとうございます。

JH0RNN: 固定局(新潟県豊栄市)より運用。

JH3AIU: 日曜朝の7MHzが振いませんでしたが、14MHzは近距離Esで1エリアと多数QSO。全市全部は、コンテスト明けがいつも休日なので助かります。

JH7XGN: 3連休で天気の良いせいか、参加局数が少なく感じた。ルール変更によりQRPでの参加局が増加し、呼ばれる側は非常に大変だった。ローバンド受信用にビバレージANT(長さ100m高さ3m)を使用したら大変聞きやすかった。

JH8CBH: 短時間ですが、楽しませていただきました。

JR1UJX: 台風21号によりアンテナに被害を受け、修復が間に合わずそのまま参加しました。普段は発生しない回り込みや電波障害が発生し、何度と無く運用の中断を強いられました。しかし、サブリグを用意しいわゆる2R体制でがんばったので、何とか例年並のスコアにはなりました。とにかく苦労の多い参加でした。

JF6CAI: 集計ご苦労様です。初めて全市全郡のCAH部門に参加しました。予想していたより、QSO数が伸びず苦労しました。ハイバンドのCONDXはよいとは言いませんが、混信が少なく、弱いScの信号の受信(21MHz)も結構楽しめました(28MHzは

全然駄目でしたが・・・)。また来年も参加できればと思います。

JF4ETK: 開始1時間後にPCのトラブルにより今年は大幅のスコアダウンとなりました。トラブルが発生した時点でリタイアも考えましたが・・・。原因の追求やサブPCへの入れ替えなどにより約1時間もロスタイムでした。もしトラブルがなかったらもう少しスコアがアップしていると思います。

電信部門シングルオペオールバンド M

7L2RAC/1: 以前は430MHzシングルで入賞を目標にやっていたのですが、最近はCWに興味を持ち、今回もCWのみで参加しました。いつかはCWで入賞圏内に食い込みたいです。430MHz1局FMで交信していますので、CHECK LOGとしてUPします。

7L4SCQ: 仕事、家族サービスと、なかなかフル参加できません。12時間参加の種目ができると参加者が増えると思います。

7M4BZX: 集計、ご苦労様です。今回は電信のみで参加しました。SSBは参加局数が寂しくなりつつあるようですが、CWはだんだん活気付いていると思いました。

7N2SPK: 開始直後と終了間際のみ短時間の参加でしたが楽しめました。

7N4MXU/3: 全バンド、ペランダ取付けのモバイルホイップアンテナで参加。3.5MHzとV・UHFはさすがに苦しい運用でした(飛

ばない、聞こえない Hi) でも多くの局と QSO でき楽しめました。アンテナをいろいろと工夫していきたいと思います。

JA0FVU: 目標には届きませんでしたが久々のコンテストを楽しむことができました。

JA1CP: 今年は用事があって途中からの参加になりました。好天に恵まれ新アンテナ (DELTA LOOP) のテストを兼ね有意義な時を過ごすことが出来ました。

JA1RSX: とぎれとぎれの参加でした。ハイバンドの状態はまあまあでした。交信いただいた各局ありがとうございました。

JA1TCF: 今年は P 部門に参加する局が多いような気がします。

JE4MHL: 夜中の 3.5Mz, 午後の 7Mz の調子が悪く、自己記録の更新はできませんでした。全体的には、特定のバンドを除いて参加局数が減少している印象を受けました。

JF3IPR: 都合により移動を断念、固定からの参加でした。天気がよかったですでちょっと後悔。

JF3KQA/1: ちょっとだけ参加しました。

JF3VKM: 移動の計画をしていましたが事情でいけなくなり、自宅から細々と短時間だけ参加しました。

JG4DDN/1: 初の本格的マルチバンド移動運用でした。疲れた、でも楽しかった!

JH0NVX/1: 締め切り後の提出になります。今年から締め切りが早くなっていたのですね。通常通り 1 ヶ月は待っていただきたい

と思います。

JH1DHV: いつもは移動して参加しているのですが、今回は所用があり「参加できないかな」と思いましたが、参加しないのも残念なので、短時間ながら常置場所から貧弱なアンテナで、参加しました。

JH2NWP: コンテスト前の一週間は、仕事が QRL で、お疲れモードのコンテストとなりました。土曜日の 12 時には、瞼が閉じてしまい、昨年のスコアを下回りました。

JH4JUK: 折角の連休のコンテストと思ったら後半所要にてフルタイム参加ならず残念でした。

JH4UTP: 新規約実施から参加数増などの成果が現れてきていると思います。委員のみなさんのご尽力に敬意を表します。改定から一巡して改善が必要と感じる点は、・電力区分: 資格の操作範囲と合わせ、L~20W, M~200W のほうが資格外運用の抑止につながると思います。・クラブ対抗: 申告者を「クラブの構成員」に限らない方が実情に合っていると思います。・結果発表: 得点×マルチ=総得点の形式がよいと思います (WEB だけでも)。以上、今後のご検討の参考にさせていただければ幸いです。

JI0AXL: やっぱりコンテストっていいですね。ついつい興奮してきます。HF ハイバンドは、いまいちでしたね。

JI0NXA: 去年の得点に近づくのに苦労しました。多くの局が出てのに得点が伸びないのはど

うゆうことか考えてしまいます。3.5MHz/7MHz は空気が無く出るのに苦労しました。メジャーコンテストはこれで終わりですが地方コンテストでがんばろうと・・・思ってますが! 各局またお会いしましょう。

JJ1BDX/3: 今回 21MHz は大変伝搬状況が良く、海外局から DX クラスタに全市全郡コンテストの QSO がレポートされたため、「JA ONLY」と書かざるを得ませんでした。現在海外での JCC/JCG への人気が高まっている現状からすると、海外局の参加を認めないのは大変残念と言わざるを得ません。何らかの形で海外局の参加を認めていただくことを強く希望します。これは JARL のすべての「国内」コンテストに言えることです。California QSO Party あたりを見習って欲しいものです。また、現在のコンテストルールでは、マルチがほとんど意味を成しません。マルチプレイヤーは都道府県単位にするなどの工夫が必要でしょう。さらに、電信に関しては 14MHz 以上の局数が非常に少ないことを考えると 3.5/7MHz のみの電信部門を設けると面白いかと思います。以上です。

JJ1IDW: クラスタにセルフスポットした場合はマルチオペと明示して欲しい。6m のコンテスト用周波数では電話バンドにおいても電信を送信可能とすれば電信部門の参加者が増加すると思われる。

JK1JHU/1: 2nd の運動会を昼

までで抜け出し、何とか移動に出かけて参加できました。久しぶりの SOAB でした。

JK2EIJ/0: マルチバンドは難しいです。V, U は空いている感じでした。参加局が少ないせいでしょうか。

JK3HLP/3: 3 連休の日程設定で、楽できました。

JN3ANO: 各局 交信ありがとうございました。

JO2JDJ: 初めて交信局数が 200 局を越えました。次回は 300 を目標にします。

JR1WJM: 初めて e-mail でログを出願します。

JR6DNR: 所用により前半しか参加できず残念でした。

JS1PWV: 局数があまり延ばせませんでした。

JA1SJR: 楽しくマイペースで参加できました。電子ログでの提出らくでいいですね。

JA3KZE: 今年は体調不調で、昨年実績確保出来ませんでした。

JA0QBY: 意外に参加者は少なく感じました。6m 以上は閑古鳥が鳴いていました。これは新潟だけでしょうか？

JH1KSB: 設備は変化ないのに毎年スコア低下！原因は年齢による体力の低下による ON AIR 時間の減少です！

JH1SAR: アパマンハムと縦フリ電鍵ではきついコンテストです。いつも CW のスピードにはおどろかせられます。

JF1MKH: 電力区分が変更になったの知らない局がたくさんいました。私のログシートにも

3.5MHz で 1 局, 144MHz で 3 局, 430MHz で 1 局ありますが電信では聞き直すわけにもいかずそのまま記入しました。JARL の PR 不足のためと思います。これで失格とするならばもうコンテストには参加しない。

JA7BME: 今回は少し本気で参加しました。当局は住所と常置場所が異なっています。移動局ではありません。

JA3TVQ: zLog 使い慣れていないのでペディションモードで参加、あとの処理に時間がかかりました。

JH7CJM: 各バンドを時々ワッチして各局の奮闘ぶりを拝見しておりました。コンディションが以外に良くてハイスコアがでたのでは・・・と思っています。

JF1OIJ: 健康のためにも、DX コンテストのように連続した 4 時間程度の休憩時間が必要ではないでしょうか。今回は自己目標とした 700QSO 40 万点を超えることができ、久しぶりに楽しめたコンテストになりました。

JJ4MAI/8: コンディションがいまいちでしたが、楽しめました。

JA1PS: 同じ日に OCEANIA DX コンテスト (CW) が行われていたので、そちらにフルエントリーしたため OC DX が終了したあと、全市全郡に参加した。

JG8SIS/8: 何時もお世話様です。21 時 00 分, 14MHz に QRV。しかし 45 分の CQ コールで 2 局とさみしい思い。急遽, 7MHz に変更。北海道はコンディション今ひとつでした Hi。

JA7MVI: ハイバンドがパッとしませんでした。

電信部門シングルオペオールバンド P

7K1CPT/1: 集計ご苦労様です。約 7 時間の参加時間でしたが、楽しめました。P を送ってくる局が増えてきたように思いました。

7L3EBJ: 集計ご苦労様です。

JA9MAT: K2 の 5W 出力で参加しました。

JH1MZG: 久々の楽しい時間をすごしました。コンディションも良く、どのバンドもたくさんの局が QRV して活況を呈しており、無線の将来は明るいですね！

JJ1CUP: それまで参加していた L 種目が廃止されてしまいましたので、初めて P 種目に参加しました。が、P のナンバーを送っている局はあまり多くなく、L 種目の廃止によって全体としては低いパワーで参加する局が減ったように感じました。バランスを考えれば、低いパワーの種目の最大出力を 10~25W 程度に引き上げた方が盛り上がるのではないのでしょうか。

JR0QWW: 今回はちょっとがんばってみました。夏頃作成した G5RV をロケの良い公園に仮設し、運用してみました。昼間はたくさんの方が来て、話しかけられたり、アンテナのステーを引っ張られたりして、面倒でした。夜にはお化けが出ると言われて、とても怖かったです。21 時までがんばれば良かったのですが、怖くて

18 時で引き上げてしまいました。もう少し粘れば良かったかも知れませんが。結果は見てからの楽しみ。勝つためにはそれなりのシステム (特にアンテナ) と、そして何よりも根性が必要と感じました。またオール JA ががんばります。

JR7HAN: 参加局が少なかつたようですね。しかし、QRP 局は増えたような気がします。このコンテストに限らずですが、強力マルチオペ局がランニングで周波数を独占している例が多く、弱小局は CQ を打つスペースがありません (特に 7MHz)。周波数利用の公平化のため、QSY ルールの採用をご検討願います。

JH0NAH/1: 初めてオールバンドに参加しました。日頃は利根川堤防に移動していますが、都合で移動できず残念でした。自宅からの運用は家事や子供と遊んでしまい集中できません。Hi!

電信部門シングルオペ 3.5MHz バンド H

JA5MAJ: 全市全郡コンテストに 3.5MHz バンドで参加するのは初めてでした。DP をあげて QRV し始めてまだ日が浅く、日頃の静けさから、コンテスト開始前には「参加局がいるのだろうか」と少々不安でしたが、いざ始まってみると 7MHz 帯と大差のない賑やかさにホッとしました。これからどうかよろしく。

JQ1NGT: 2 日間とも天候がよく多くの移動局がでていました。普段静かなバンドにもぎわってました。今年は 3 連休のため開催日

はよかったと思います。

電信部門シングルオペ 3.5MHz バンド M

JA1HHU: アジア大会、メジャーリーグ、ボストンマラソンを見ながら合間のコンテスト。最後はイラン対日本のサッカー決勝で完全リタイアしてしまいました。

JA1XEM: 思うように運用時間が取れませんでした。

JA3ATJ: 7MHz 以上はちょっと出ただけですから、チェックログとして提出します。とは言うものの、3.5MHz もそれほど多くの時間 QRV できたわけではありませんが、楽しめました。

JA9IAX/1: 初めて 3.5MHz シングルバンドに参加しました。昼の時間帯がのんびり出来るので、他のバンドに比べて楽でした。だんだんと 24 時間フル参加はきつくなってきました。Hi

JH4FUF: 残念ながら所用が有り、まともな参加にはなりません。集計ご苦労様です・・・

JH9ISB: 行事の合間をぬっての参加です。初めと後の数時間のみ。いつかフルタイムで参加してみたいと思っています。

JQ2RMA: 初めて電信での参加になりました。なかなかコツがつかめず、交信局数がのびませんでした。今後につながれば良いと思います。

JA4AKV: 集計ご苦労様です。来年も宜しく願います。

JA1MSS: 今年もシングル 3.5MHz の電信で参加してみました。いつも夜は寝てしまいます。

翌日の朝と夕方から断続的に参加しました。次回を楽しみにしております。

JP3DVP: 締切日が早すぎます。全会員が PC やってません。クラブ運用のものは代表者の手に渡さなければいけないので!!

JE8GNN: 次回は 24 時間参戦します。各局ありがとうございました。

JG4UWS: 今回も 3.5MHz を主に参加させていただきました。電信は今まで QSO させていただいた方が大多数でした。各局の送信速度が速くてなかなか追いつけません。当方、米つきバツタ、手書きログ (ボード打鍵が間に合わない) での運用で楽しみました。

電信部門シングルオペ 3.5MHz バンド P

JK1LYP/1: 昼間は家族サービスのため 2 回に分けて QRV しました。天気が良くて夜中は星がきれいに見えました。

JM7TKK: 短い時間でしたが、QRP(5W) で参加しました。何度か NR の再送を求められました。弱い信号を取っていただいた各局に感謝します。

電信部門シングルオペ 7MHz バンド H

JS1DCZ: 徐々に全力で全市全郡コンテストに参加しました。大分 CW の受信能力が落ちていまして、はじめの頃はコンテストナンバー (特に区 6 桁) を何度も送ってもらいました。23 時~4 時位睡眠をとり日中はスロー気味の CQ

でした。全市全都で下妻市を固定からサービス出来て少しでも御役に立てばと思います。各局交信ありがとうございました。73 & GL JA3WNQ: QRP 局の規定が甘いのでは？ M の局より強い P の局がおられましたか？？

電信部門シングルオペ 7MHz バンド M

7K2GMF: 一時間だけの参加でしたが、楽しみました。

JA0DOW: 全市全都コンテストの参加は 2 回目です。

JA0EMS: 久しぶりにコンテストに参加しました。

JA1WQX: 100QSO の目標を達成できた。

JA3EPI: 次回も参加します。

JA5IDV: 今回もフル出場できなくて残念。

JA5IVG: 集計ご苦労様です。なかなか YL 局を見つけるのは難しいですね。

JA6PL: 終了間際の参加でした。まさに、参加する事に意義ありです。

JE1XRK: 楽しんで運用しました。

JE2OUK: 上位は無理ですが、コンテストは楽しみです
JE6EKC/3: 参加局数がどんどん減っていますね。

JI5NWQ: 今年は仕事がいってしまい、残念でした。

JL7AIA: 序、中、終盤とつまみ食いのような参加でした。ラストだけまともな CONDX だったような気がします？

JM6FMW: 今回も楽しむこと

が出来ました。

JR6GUI/1: いつもの如く家の用事、仕事との掛け持ちで参加しました。50MHz の RIG が壊れてからと言うもの、仕事や私用で忙しく、RIG の修理はおろかアクティビティも低下気味でした。コンテスト参加は 50MHz と決めていたのですが、全市全都くらいはと思い、今回は 7MHz で参加しました。思いのほか楽しめたので暫くはコンテスト参加も 7MHz になりそうです。7MHz なら QRP でも充分楽しめそうなので次回は QRP での参加を目論んでいます。

JR8OGB: マルチバンドで参加するつもりでしたが、体調が悪く途中でリタイアしました。来年は、是非フルオペしたいです。

JN3LXF/9: パワーを 50W 近くまで上げると送信しっぱなしになり LOW パワーで運用しました。アンテナがよかったせいで結構交信できました。

JA9ANF: とても楽しかった。又参加します。

7N4KDU: 今年も楽しく参加することができました。ありがとうございました。

7K2AMG: 半月ぶりに無線のリーグに電気を入れていなかった。久しぶりに CW はどうかなと思って試みたが衰退、衰えはなかった。今回も全市全都無事に参加できてほっとした。

JA4AVO: 一局のみにしました。

JI6DMN: できるだけ参加しようと思はするのですが・・・たった 20 分間とは？！もう少し

ゆっくりした気持ちで出たいものです。

JR2EVF: 50W に 4m 高の超短縮型 (1.5m 長) では順番が回ってきません！でもどうにか交信できました。

JA1FQM: 今年も残念ながら仕事でオールタイム運用ができなかった。参加賞のみで終了。

JL2FLB: お相手くださった各局、下手な CW を聞かせてごめんなさい。次回は多少でも上手になって参加します。

電信部門シングルオペ 7MHz バンド P

7L3DNX: 久々の参加かつ QRP での参加でした。

JA1FPV/1: コンテストの最中にかみさんに、紅葉見物のハイキングのお供をおおせつかり、家庭内の平和のため山登りに行ってしまいました(涙)。そんなわけで、今回もパートタイムの参加でした。7MHz の混信がきつく FT817 の純正 500Hz の CW フィルターでは苦しかったですね。

JA5DIM: 昨年より、QRP の参加局が多かったような気がします。

JL1PMH/1: QRP 3W にて参加。7MHz は 100W 以上の局が多かったですが、QRP 局とも交信できました。

JM1OZP/1: 初めての 7MHz CW フル参戦です。5W でも呼べば必ず応答があったので徐々にハマリ、強力な QRM 洗礼を受けながらも数時間 CQ を出すことができました。QRP 部門の面白さ

をいくつか発見できたコンテストでした。

JH2OMM: 短時間の運用でしたが楽しめました。

JA8GMZ: 空中線出力で L, M を同じコードナンバー M に入れるのはおかしいと思います。

JH2HUQ: 7MHz はコンディションが今一つで、参加局も少なかったようです。いつものアクティブ局のコールが聞こえず淋しい感じがしました。毎回 LOW POWER で応答率を上げるためのテクニックを考えています。

JA1NHM: FT920 減力操作で 2W 及び 10db アッテネータで 200mW。Condx に合わせて使い分け。

電信部門シングルオペ 14MHz
バンド H

JK1LUY: 次回もがんばりたいと思います。

JL1UTS: 今回は 3 連休中のため、参加局も少ないと思い、ヒマつぶし用のものをいろいろ用意しておきました。パソコン内の不要ファイルのゴミ捨てや、携帯でメール出したり、パズルしながらの参加でした。Hi Condx はまずまずでしたね。

電信部門シングルオペ 14MHz
バンド M

7M4KSC/1: 近場が開けました。

JA3HBF: 開催日の規定をシンプルに(例えば 10 月第 1 土曜日)。電力による区別が煩雑過ぎる。元に戻すか、全廃すべし。

JA6EOD: フル参加は出来ませんでしたでしたが condx も上がり、楽しい時間が過ごせました。

JA7VHJ: コンディションもよく、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

JF3CHM: 開始後 7MHz の ANT の不具合に遭い、日付が変わって QSY を余儀なくされました。7, 14MHz の両バンドで交信頂いた皆さん、どうもありがとうございました。

JH1IFQ: コンテスト開催日が 3 連休になってしまい、この日を家族旅行等に当てられる事が多くなった。普通の土日に開催して欲しい。

JK7UST: くたびれもうけであることは承知していますが、今回は夜間のスカッター等、ぎりぎりの状態における交信に挑戦しました。しかし、私にとってコンテストの楽しみとは、次から次へと呼ばれる爽快感にあると確信しました。

JR1WYV: 初めて CW のみのコンテストの参加となりました。熱いけど静かなコンテストを体験出来ました。

JR3NDM: 集計ご苦労様です。所用があり短時間の参加でした。

JR4GPA: 楽しめました
JE3ECD: ほんの少しの時間の参加で申し訳ないです(家族サービスで外出等)。

JA1AAT: 時間の関係で 14MHz CW3 局のみ。次回に期待したい。

JH1MTR/4: 短時間でも楽しめました。14MHz は good

Condx でした。PM は仕事でパス。

JK2BAP/2: 集計御苦労様です。天気が 2 日間良かったため、移動して参加しました。ACAG TEST は Hi Power 局が多いため、それらの局に被りを浴びせられて、バンド内をあっちこっちへ逃げ回ることが多いのが特徴ですね。

JK1REJ/1: 今年は外房の勝浦市から 10W の 14MHz で参加した。東京を中心とした 1 エリアは、あまり聞こえなかったが、8 エリア~6 エリアまでほどよく交信でき、まあ満足でした。

JF6NBB: 朝遅くからの参加でしたが、まずまずのコンディションで局数もほぼ満足でした。

JH6SCA: 地区の運動会と開催日が重なったので、日中のフル参加ができませんでした。

JH4WXV/4: 徐々に 14MHz に出ました。良く開けてくれました。次回又参加します。

電信部門シングルオペ 14MHz
バンド P

JA1KEG: 次回も QRP で参加したい。

JA7CQ: 縦振れ電鍵だけ使用、空中線電力 10W 以下のコンテストを考えてもらいたい。

電信部門シングルオペ 21MHz
バンド H

JF3LGC: コンテストに参加するのは何年ぶりだろう。

JR6PQD: 次回も参加したいと思います。

電信部門シングルオペ 21MHz
バンド M

JA2DHL: CONDX がいまいち
でした。次回は 3.5, 7MHz で参
加します。

JJ1LBJ: コンディションがよい
割に局数のがびませんでした。

JR2QHL/6: 受信した全ての
RST が 599 であるのは、おかし
な慣習だと思います。

JA6FXT/1: 毎年参加者が減っ
ているように思います。対策をお
願います。

電信部門シングルオペ 21MHz
バンド P

JR1NKN: コンディションに恵
まれず残念でしたが多くの局と交
信できてうれしいです。

JH6HZE: 集計等関係者の皆様
ご苦労様でした。

電信部門シングルオペ 28MHz
バンド M

7L2DXD: ログ提出をあきらめ
ていましたが、11月号を見て仕事
を休んでログを作っています。

JA4ETH: 家族サービスのため、
3H だけの QRV となりました。

JE6LIE: 十数年ぶりに参加して
みました。それもパソコンオペ
レートで難しかった。

電信部門シングルオペ 28MHz
バンド P

JJ1HFJ: 5W では、Sc による
QSO はかなりきびしい時があり
ます。弱い信号を苦労して取って
頂いた方には得点を倍にしてあ

げたいくらいの気持ちになりました。
各局どうもありがとうございました。

電信部門シングルオペ 50MHz
バンド M

JR0LME/0: 今回天候が良く
運用自体は気分良くできました。
が、コンディションはごく並みで
全県交信と目標数は夢のまた夢で
した。提出を電信部門に変更しま
したので、最後に CHECHLOG
として電話交信のデータを添付し
ました。

JR8MCR: コンテスト集計ご苦
労様です。

JS1KQN: 初めて電子ログで提
出します。

JA7QIK: コンテスト初参加で
す。

JH0CHR: コンテスト主催皆様
のますますのご活躍をお祈り申し
上げます。

7M4XEO/1: 残り 3 時間のと
ころで発電機の燃料が切れ、QRT
をせざるを得ませんでした。しか
し思っていた得点よりも上回った
のでよかったです。

JF6OVA: 13 日の午後は CQ 出
しても応答が無く、ワッチしても
新しい局と交信できず大変きつ
い半日でした。

JG3DDU: 空中線電力の表記に
L があるのに種目コードに L がな
いのはどうしてかな?

電信部門シングルオペ 50MHz
バンド P

JR8LRQ/1: 電信電話オール
バンドで参加する予定が、準備の
都合でシングルバンドになって

しまったので、初物狙いで新設の
QRP 部門に参加しました。運用
場所への到着も遅れてしまい、運
用時間が短くなった割には良いス
コアを出せたように思います。ロ
ケーションが良いと 5W の電力
でもたくさんの方に呼んでもらえ
るものなんですね。そこそこ届い
ているはずだと考え強気で CQ 連
打したのが良かったのかもしれま
せん。

電信部門シングルオペ 144MHz
バンド

JA7KJR/7: Condx が良く、1
エリアの局と結構 QSO 出来て、
AJA が大幅 UP して。朝までの
運用でしたが収穫のある移動でし
た。

JK3RFU/1: 今回もちょっとだ
けコンテスターとして参加しまし
た。

JO1QGK: 久しぶりのコンテス
ト参加でした。局数が少なく参加
しただけという結果でした。

JA7NT/1: 7MHz, 14MHz は
大混信 良いことです Hi。
21MHz, 28MHz は condex 今イ
チ。400MHz は静かでした。昔
はログシートが数枚でした Hi

JE1YQL: 今年も参加すること
が出来ましたが、まだ頭数にすぎ
ません。フルタイム参加が移動で
もして交信局数を伸ばしたいで
す。めざせ上位!

JA6EFA/4: 複数部門への参加
を認めて参加者を増やしたほうが
良い。

JK1HIY: 144MHz, 430MHz で
も電力区分 P が欲しいです。

JK1DMT/1: 今年も 2m の CW のみで参加しました。久々に河原へ移動し、八木を上げての運用で楽しくすごしました。

電信部門シングルオペ 430MHz バンド

JA9XAT/9: 西日本側のコンディションが良かったようだが、参加局が少ない。

JJ5ADI: 全市全郡コンテストは初めて参加しました。自分なりに思う存分やれました、楽しかったです。

JE7ENK/7: 天気が良く、局数も思ったより多くできて楽しめました。

7L3ECZ: やはりコンテストは CW が醍醐味で、真剣勝負での競争が自分の訓練にもなって、研鑽されてきました。今回は時間制限参加のため最後まで参加できませんでした。今回で 4 年目の参加ですが、いつになっても CW のコンテストはおもしろいです。

JL7IXB: 集計ご苦労様です。

JR2TRC: 参加のみさせていたいただきました。

電信部門シングルオペ 1200MHz バンド

JE2HVC: 参加局が少なくなった気がします。

JA1DBG: F. D. コンテストに続き、今回も相手局が聞こえてこなかった。終了間際にもう一局聞こえてきたが QSO 出来なかった。

JH5AEN: 時間がとれなくてワッチができなかった。連休は難

しい。

電信部門シングルオペシルバー

JA1HIY: 成績は全く駄目ですが、参加させて頂きました。皆様には大変お手数煩わします。

JJ1JGI: 2 年ぶりに参加しました。すぐに疲れて休んでしまいました。それでも一晩 24 時間眠らずにがんばりました。でも休んでいる時間の方が多かったようです。

JK1SDQ: 3.5MHz で、AJD が 37 分間で出来たのは嬉しかった。

JP1SRG: 満 70 才になりましたので、今回からシルバー部門で参加します。Hi。。。。

JA3AA: コンディションも良く十分楽しむことができました。益々のご盛会をお祈りします。

JA6APS: 21, 28MHz がオープンする時期ですとものにぎやかで、なおかつ新市、郡、区がゲットできると思いますが、夏にコンテストが集中してしまいますね。何か良い知恵は？

JF7DXT: コンテストの交信中所用のため常時交信は出来ませんが、電波伝搬の状態が良かったので楽しく過ごさせていたいただきました。

JJ1DXI: 今回は声に懸念があったので、CW モードのみに参加いたしました。自己の能力の範囲の運用として、深夜、早朝の時間帯でなく普通の時間帯で楽しみました。今回も宜しく願いいたします。

電信部門マルチオペオールバンド M

JA1YFG: 交信していただいた皆様、有り難うございました。今回は例年と違い CW のみでの参加となりましたが、なかなか楽しめたように思います。また、コンテスト委員会の皆様、運営全般ご苦労様です。(文責：島田)

JJ3ZOX: 前は、関西地方の電信部門入賞しましたので、もう一度入賞を目指しががんばりましたがアパマン常置場所にて運用では局数が増えません。

電信部門マルチオペ 2TX

JK6SEW: 今年もなんとか参加することが出来ました。ここ数年全市全郡コンテスト時のハイバンドのコンディションが悪く、夜間以外は結構苦労しています。

JO1ZZZ/0: 集計お疲れ様です。3.5MHz と 21MHz のアンテナが使えなくなるハプニングがありましたが、マルチオペでのコンテスト初参加を楽しめました。

電信電話部門シングルオペオールバンド H

JA3OLO: 今年は忍耐が足らなかったようです、次回はがんばるつもりです。

JF2FIU: 昨年比ダウンでした。やはり明け方頃、強烈な「睡魔」が襲ってきて 1 時間ちょっと座ったまま寝てしまいました hi、しかし歳をとるにつれて 24 時間戦うことが辛くなってきたです!?! コンテスト委員の皆様、集計審査本当にご苦労様です。

JH2CMH: フル参加はできませんでしたが、Condx が良く結構楽しめました。

JH4UYB: 参加局が減少しているようで苦戦した。

JJ1XNF: 自宅から久々にフル参加しました。以前に比べ VHF & UHF の局数が極端に減ったように感じました。

JK1QAY: 28MHz の参加者が少ない。

JM1JIV: 3年ぶりのフル参加で疲れしました。

JR1VAY: のんびりとカードの整理をしながら参加しました。

電信電話部門シングルオペオールバンド M

7J3AOZ/3: 特に 50MHz の参加者の減少が目立ちます。

7K1PEO/1: 局数は減っているのですが、少しの工夫で得点上がるのはやはりコンテストの醍醐味。楽しい物です。

7L3IUE: 最高の天候の中、楽しい運用ができました
7M2WNR/1: 参加局数が毎年少なくなってきたように思われてなりません。3連休だったこともあるのですが、さびしいコンテストだったように思います。

JA1EGP: 移動地が悪く V・U・SHF の飛びが悪かった。

JA1IQK: 最近はコンテストであまりがんばらず、楽しく参加する方向です。これまでほとんど出なかった HF 帯にも顔を出しています。

JA1OQ: 今年も楽しく参加でき

ました。

JA1PTO: クラブスラッシュは特殊クラブ部門で昨年は総合 9 位でした。今年は更に上位を目標にしています。

JA1QEU: 年々参加局が減少し寂しいと同時に JARL で何らかの対策が必要と思う。

JA1VBP: 次回もがんばりたいと思います。

JA1VVH: 法事の為、移動及びフルタイム参加できませんでした。

JA1XCZ/4: IOTA コンテストのように 12H 部門の新設を願う。社会人にとって 24H のフル参加は厳しいものがある。今は、参加局数 10 局未満の部門が多くある。12H 部門なら多くの局のエントリーがあると思う。12H は連続した 12H でマルチバンドのみ。コードナンバー XAH12H XAM12H XAP12H

JA1XRH: 今年は紅葉狩りドライブを優先したためほんの一時の参加にとどまりました。

JA3IEZ: 今年も楽しく運用しました。

JA6QDU: 折角のコンテストなのにヤボ用があって、余り運用が出来ませんでした。

JA7KM: 楽しく参加できました。集計ご苦労様です。

JA8JCR: HF でのんびり参加しました、28MHz はコンディション悪く結局 0 局でした。スコアを考えると VU も出ておけば良かったかなと反省しています。

JE1SCJ: 初の 1000 局交信を目標にがんばりましたが、今一步及

ばず残念でした。

JF1NPO: 次回もがんばりたいと思います。

JF2WOW: 山間のキャンプ場からの QRV で、ロケーションが悪く ANT 地上高も低かったので、CQ を出さずに呼ぶだけでしたが、思ったより局数が稼げました。

JF4CZL/1: 集計ご苦労様です。昨年の結果を上回る事が出来ました。サービス頂いた方、有り難うございました。

JH1QXP: 1200MHz の参加局が大変少なかった。HF ハイバンドがあまり開けなかった。

JH6KOQ: 10m, 6m がさっぱりだめでした。九州の参加者が聞こえません。今回は CQ を出さずに呼び専門でやってみました。HF は八木が必要ですね。今回は CW の比重がますます多くなりました。速い CW の解読はは苦手なのでマッキントッシュにお任せでした。

JH7VVR/1: 集計ご苦労様です。地方の参加局が楽しめる内容でない、減少傾向が加速しそうな気がしました。

JJ1JJD: 今年は趣向を変えて、、、アンテナをいろいろ使いながら、電波の飛び具合を確認したり、徐々に電話にも参加したりで、得点は伸びませんでしたがかつろぎながら楽しめました。次回もがんばりたいと思います。

JJ1NNH: 楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。

JJ1VEX: やはり三連休の為、移

動局は多い様におもわれましたが、毎年々参加・交信局数が少ないと思います。毎回決まった局との交信が多く、特にニューカマー局との交信は少なかったです。クラブ局の不慣れなオペレーターも目立ちましたが今後ともがんばって戴きたいです。今年のコンテストは 6m AND Down の方が参加局数が多く思われます。

JK1XDB/1: 久しぶりに移動運用で参加しました。以前は VUHF の局数が圧倒的に多かったのですが、今回の自分の結果を見ると HF の局数が 6 割を超えていて驚きました。

JK2VOC/2: 集計お疲れ様です。知り合いだけ QSO した感じでした。hi

JK3GWT: 日曜日の午前中にどうしても時間が取れず、気合が入りませんでした。14MHz が結構よく開けていて面白かったです。来年はフル参加したいですね。今年もありがとう御座いました。

JL1TBP/1: 初めてフル参加できました。目標もクリアでき満足な結果でした。お疲れさまでした。

JL2OGZ/7: 短時間の参加でしたが、楽しむことができました。集計よろしくをお願いします。

JL6XZI: QSO 頂いた各局ありがとうございました。

JM1LRQ/1: 数年ぶりに全市全郡コンテストにフル参加しました。V/UHF に有利と考えて標高の高い場所に移動しましたが、HF の CONDX が良くて HF 主体の運用になりました。移動して

24 時間コンテストに参加したのは初めてでした。

JM7PBI/7: ここ 3 年間同じ場所移動運用の参加ですが今回は天気も良く、山岳移動には最高でした。来年もがんばるぞ。

JN3IEC/2: 7MHz 帯を除くと、活気が無くさみしいコンテストとなっています。

JR2AWS/1: 大変楽しませていただきました。

JR7JBM/1: 短時間の参加でした。常連局が殆どでした。ニューカマーは少なかった。

JR8ROI: サンスポットの下降期へと移行しているコンディションのせい、ハイバンドにおいては、国内よりも隣接する海外局が強く入感。国内コンテストばかりの当局にとってはあまりありがたい状況でした。ローバンドでスコアを上げてゆく OM 諸氏の声を聞きつつ、来年の作戦を練り直す必要性を感じました。

JH7FTH: 10 分ルールを取り消してほしい。(理由) 山形県支部のコンテストでは使用していないのと 2 台のミッターをしていると一方が入感していても 10 分間は応答出来なくなり不便である(マルチには参加できません)。

JF0VMJ/0: 全市全郡コンテストは初参加ですが、相当楽しむことが出来ました。これらを機会にアクティビティを上げていきたいと思えます。

JA0GEY: 楽しませていただきました。

JP1FOS/1: ♪ 切 が JARL NEWS にも CQ 誌にも誤って

掲載されていたが、何の連絡もなく Web だけで訂正されていた。Web が見れない人は予想外の切の早さに結果の提出を諦めているのではないか。今後掲載には充分注意してほしい。

JA1DTS: 50MHz FM , 144MHz FM ,430MHz SSB に参加者が少なかった。社団局(クラブ学校局)の一部で RS 59 といっているのでは何も区ナンバーを理解しない局があり残念でした。次年も参加します(HF と UVH 帯と分けてほしい)。

JA8ABK: 当初、電信部門を考えていたのですが、お付き合い等の事情もあり、ミックスとしました。

JJ1QIE: 数時間の参加でしたが充分楽しめました。また、参加します。

JA0AUF: 所要で糸魚川に仮住まいの中、差し繰って帰宅、僅かな時間でしたが、このコンテストに参加できました。参加することのみ意義あり・・・といった心境です。UV は毎回少なくなっているようです。今回は限られた時間帯での参加でしたから、余計に強く感じました。

JF1JDA: 手が不自由なため、サマリー・シートおよびログシートなどを JARL 規定同様に作成しました。

JE1WVJ: 年々参加者が少なくなりますネ。肌で感じます。参加賞品をランダムに当選者に渡す。ゴージャスな品物を。参加者増加を狙う。

JH1EMH: 局数が少ないように

感じましたが、楽しめました。

JJ4RAG: オールバンドで楽しみました。ロケーション的に5エリアが交信できません。残念です。

JG1IEB: 昨年並みのスコアが確保出来ました。

J11IIF: 書類の提出締切日が早くなりFBだと思いました。早く、正確に処理するのもコンテストの技量のうちだと思います。

7N2TWD: 受信と送信のバランスのとれていないハイパワー局が多く見られる。交信が成立しているのか疑問のあるケースも多数あった。1KWの運用を改善してほしい。

JM1LAW: 14MHzのコンディションが良かったようで楽しめました。

JA7VSO: 運用時間がなく、残念でした。来年はシルバーでの参加を予定しています。

JO1WZM: 毎年、自宅より楽しく参加しています。各バンドの参加局が、だんだん少なくなっているような感じですが、コンテストは、いいですね。

JK8PDM: 今回初めて参加しましたが、楽しく運用できました。今後も機会があれば、参加したいです。どうもありがとうございます。

JE8FWF: 今回はクラブの会長の自宅の物置建て替え工事に駆り出され、十分に参戦できなかつた。よって21MHzが殆どできなかつた。その代わりに、ローカル局が145MHz・石狩市移動でがんばってくれたおかげで何とかバンドが

賑やかになったかな。江別市のJH8YCTは廃部したのか今回も沈黙したまま、寂しい。しかし、うちの近所の某札幌大学HCが終盤呼んできたぐらいで、ほとんど声を出していなかったのが気になった。「最近の若い者はたるんだぞ。しっかりせい!」と湯を入れないほどだめだった。ああ、俺たちの頃はバンドが死んでいても叫びまくっていたがなあ(今から見ると暗雲戦法で非合理的・非科学的だったが。Hi)。

JK6UET: 集計ご苦労様です。

JN3DAR: マルチプレイヤーの意味が今ひとつ分かりません。よろしくをお願いします。

電信電話部門シングルオペオールバンドP

7N2ECX: 聴取力に難があるOpは社団局に多いようです。十分に修行を積んでからオンエアして頂けると、'SRY'AGN'NR?'が減る筈です。

7N4LVW/1: QRPなので50-430MHzを中心にがんばりました。山の上のFBなロケでたくさんの方と交信できましたが、夜はとにかく寒かったです。

JE7CWH/7: 運用地にアベックの車がいて23:30までHFのANTが張れませんでしたhihi。今回忘れ物が多く、同軸、クロスマウント、マスト用ボルト、大変でした。14MHzの爆発でQRPながら80局に呼ばれ感激。3バンドで100局ずつ出来ました。50wでもなかなか出来なかつた局数だけに楽しい運用でした。

JA3KYS/3: 7MHz~430MHzまで参加予定であったが、28MHzは全く局が出ておらず、430MHzも1局にとどまった。今回も9管内が取れず、1dayAJDは達成できず残念であるが、10,000点の大台に乗ったことで満足している。

JQ2CZJ: 初めて参加しました。来年も参加したいと思います。

7M4JUO: 全市全都コンテストは1年ぶりとなります。マイホーム購入後初めてのコンテストとなりました。2Fのベランダよりモービルアンテナにて福島県が交信でき驚いています。

電信電話部門シングルオペ3.5MHzバンドM

JE1CKA: Webでの結果発表時に局数・マルチの情報も公開して欲しい。

JE1OHL: クラブ局でLにもかかわらず、耳が悪い局が多すぎる。単にOPが悪いのか、周辺環境が悪いのか、それとも虚偽の運用をしているのか(信じたくないが・・・)。

JJ1RJR/1: 次回もがんばりたいと思います。

JE7DMH: 同日仕事だったので、夜だけの参加です。今回は、SSBで1局だけQSOしたので、電信電話部門で、書類を出します。

J12QIX/2: 栄養ドリンク片手にがんばりました。

JA8IBU: 毎年、このコンテストは仕事や用事があってNGです。

JR1BQJ/1: この周波数

(3.5MHz) の昼間は非常に長く、移動先で昼寝だけでは時間を持て余してしまいました。しかし、たくさんの局と交信でき楽しい一日でした。

JH6MBP: 運動会とコンテストの忙しい日曜日でした。

JH0HON: このコンテストはコンテストナンバーが長いのでコピーが大変です。

電信電話部門シングルオペ
3.5MHz バンド P

JA2UFH/2: 岐阜県土岐市に移動運用して、電信電話 3.5MHz QRP に参加しました。5W + DP で運用し、CW:196 局、SSB:72 局で、やはり SSB での交信は局数が伸びません。2 × QRP QSO は CW で 12 局あり、QRP で参加する局は増えているようです。

JI7ROR/7: 運用場所に困りました。最初は公園の駐車場でやろうと思いましたがおまわりさんが来て此处はうまくないと。おまわりさんから此处ならいいんでないか といわれた場所に移動しての運用になりました。

電信電話部門シングルオペ
7MHz バンド M

JA5IP: 久しぶりにフルエントリーしました。7MHz はバンドが一杯で出す隙間がありませんでした。出来ることならバンドの拡大をお願いします。

JA2XRO: 2001 年に続き 4 回目の参加です。よろしくお願ひします。今回は SSB と CW のミック

スで参加しました。何十年ぶりの電信でお話になりませんでした。楽しくやらせていただきました。少しは電信の感が戻ってきたようです。今後もがんばり続けたいと思います。

電信電話部門シングルオペ
7MHz バンド M

JA0VN: 次回もがんばりたいと思います。

JA1PJL: 7MHz のみのコンテストは久しぶりでした。相変わらずの QRM に閉口でした。

JA3AOP: ARRL を中心に WAEDC、OCDX などでも Cabrillo Format での Log 提出が定着してきた。JARL でも Cabrillo Format の採用を希望します。

JA7HSX/7: 3 時間余りの参加でしたが好天に恵まれ、楽しい移動運用となりました。

JO7HRI/1: 次回もがんばりたいと思います。

JR2GGV: 久しぶりにのんびりと楽しませていただきました。有り難う御座いました。

JS3VSD: マイペースでの参加ですが、次回もがんばりたいと思います。

JA3BPX: 点検集計ご苦労様です。のんびり楽しませて頂きました。JARL の発展をお祈りします。23 日が締切日と知りあきらめていましたが、後に 8 日と知りホットしました。

JA5TFJ: 毎年参加を心掛けていますが、今年は 10/13 急用により運用を中断せざるを得なくな

り、残念ながら僅少な得点に終わりました。参加各局にお世話になりました。コンテストはいつも苦しみながら楽しんでいます。

JR3BVX: 今回は電話をメインにしました。ログ締め切りが早いです。もう少し日にちが欲しいです。

JH0HZF/0: 集計ごくろうさまです。

JH9URT: 時間がとれずにこれだけしか出来なかった。

JA2PYD: スタート時点で呼びに回っていたので伸びず、1 時間経過後 CQ を出して多くの局に呼ばれた。八木アンテナですと切れが良く伝搬状況をもっと勉強しなくてはならない事を実感、途中寝てしまいました。今年も終わった。

JG5AVM: 局数は少ないですがログ、サマリーを提出いたしますので、御手数をかけますが、宜しく御願ひ致します。

JL3HHV: 初めての全市全郡コンテスト参加です。

JR1JBU: 仕事の関係で早朝 15 分間の参加です。参加証御願ひします。

JJ0AHF: 今回は、7MHz バンドのみの参加でした。24 時間、自分なりに最後までがんばりました。オペレーターの未熟さを今回のコンテストで痛感しました。

JA1HAP: 仕事の都合でコンテストがなかなか参加できませんでしたが、コンテストに久しぶりに参加いたしました。次回も参加したいと思います。

JE1PJR: 電波のコンディショ

ンによる場合が多々あるのですが (H) ハイパワー局の受信 (耳) の悪さが大変気になりました。微弱な電波ですがなかなか受信してもらえませんでした。それでも大変楽しく参加させて頂きました。

JJ4KFK/4: 2m は、かんこどり。

7M1LTR: 40 才の誕生日の記念に少数の局ですが JARL のコンテストに初参加します。

JG8QXB: 社団が半分以上かと思えます。クラブ局と個人局に分別していただけないでしょうか。検討して下さい。たとえば、日時等。

電信電話部門シングルオペ 7MHz バンド P

JJ4CDW: 12 日の午後からアンテナ (ワイヤー) の調整をして、目標 200 局交信を目指して参加しました。が、あと 1 局。。。。力及ばず Hi CW では 4W, SSB では 5WQRP で運用しました。ローバンドの SSB の QRP は、やはり厳しかったけれども、十分に楽しめました。交信した各局, TNX!

電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド H

JG0EGY: 少ない交信数ですがよろしく願いいたします。

JA7DOT: わずかの時間でしたが参加しました。この参加で 75 周年アワードがすべて申請可能となりました。

7N2JFU: 14MHz で CQ 出すのもいいものですね。FAST QSO

が多かった。

電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド M

JA6JNF: コンディションが一つでした。

JG6BXO: 1 日開催日を間違えていたので、あわてて準備しました。

JH5GEN: 今回も ONE DAY WAJA が完成しませんでした。

JH6FTJ: なかなか思うようにコンテストの時間が取れません。今回は 30 分程の運用でした。集計ご苦労様です。

JJ5AKK: スタッフの皆様ご苦労様です。また、お声掛け頂いた皆様に感謝いたします。スタート直後より 7MHz にエントリーしておりましたが、40 局ほど進んだ深夜、ログに使用中のパソコンが突然のダウン。急遽手書きのログにて挑戦するも相手局の「QSO 済みですよ!」の連発。腐る気持ちを自分でなだめて、翌朝から 14MHz での再スタートでした。やはりログは手書き併用が鉄則でしょうか?

JN4ESD: 次回は今年より得点が上がるようにがんばります。

JQ1COB: コンディションの把握が難しかったが楽しめた。

JS2KDD/2: 今回は 14MHz シングルと最初から決めていたのですが、思ったよりもコンディションに恵まれ、充分楽しむことができました。

JJ7CDB/7: 電力区分による種目コードが H, M, P になったが、実際運用してみると L(5W ~

10W) と M(10W ~ 100W) では、違いすぎる。種目で L と M を合わせないでもらいたい。前のように L 種目独立を願う。

JJ6WZS: 夜間のコンディション 14MHz は最悪。

JG3SVP: 雨乞いも空しく当日運動会のため、部分参加でした。QSO していただいた方々ありがとうございました。

JA3HPD: 季節の変わり目で夏物を整理し、冬物を出すという冬支度を XYL との共同作業の合間に参加致しました。少子化の時代に 9 月 3 日、長女に双子の男児が生まれ、それに伴い、上の孫の子守が新たに負担となり、コンテストも部分参加でした。Hi。

JA6PY: 夜勤明けで朝 11 時前から参加。眠たいので適宜参加しました。アパマンハムはこんなものか。

JE8JOK: 今年は、仕事の合間を見て参加しましたので、結果は望めませんが楽しく参加しました。毎年参加できることの楽しみの一つです。又、よろしく願います。有り難うございました。

JH4EZE: 14MHz のコンテスト周波数は CW, SSB 共やや狭いように思います。

JH4JLJ: 子供がまだ小さいため、ホームから久々のコンテスト参加になりました。

JG1GCO: 残念ながら 3 局しかできませんでした。

電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド P

JR3JSG: 10/14 夕方所用の

ため 2。5H ほどシャックを離れたせいもあってか目標の 8000 点に届かず次の ALL JA コンテストに持ち越しです。

JA7LIF: QRP は 1W 未満としてほしいです。

電信電話部門シングルオペ 21MHz バンド H

JA0KJD: 次回も楽しみにしています。

JR1HHF: 参加者の減少が感じられて残念です。

JA7ODY: 開催日は、日～月の体育の日に開催してほしい。今回からログ提出締め日に変更になったのですか?? 以前のようにコンテスト終了後、20 日としてほしい。コンテスト終了後 10 日にした理由は?? 重複リストの記載ないので添付しませんでした。

JA8RAT: コンディションが悪いに加えて、2 人の娘の学会を見に行かなくてはならず、午前の 3 時間半の OFF はとても痛かった。

電信電話部門シングルオペ 21MHz バンド M

JH8HEO/1: CONDX VERY NG!

JF7LKB: 今年は、昨年よりもコンディションが悪く、6 エリアが思ったよりも開かなかった。さらには昨年同様、近距離の参加局が少なく、思ったよりも伸びなかった。

JE8SND: 3 連休中のコンテストは家族サービスに支障ありますが、コンテスト好きな私にはスト

レス解消には最適。

JF1OJC: 日曜日の午後のみ参加でしたが、オンエアしている局数が少なく感じました。コンテストの交信でも各局の QSL カードの交換が積極的に行われますよう希望いたします。

JE8NRE: 初めての全市全郡。24 時間運用できなかったのが残念。

JQ6MXW: 表彰を増加するため、パワーを細分化してほしい。50W と 10W は S レベルが明らかに違う。又、Low Power の局との交信の得点を上げ、低い Power 局を優遇してほしい。将来的にアマチュアはコンテスト 50W を Max. に。

電信電話部門シングルオペ 21MHz バンド P

JA1WSE/1: あまりコンディションは良くなく伝播状態も開けなかったようです

JK8ODX: 全市全郡初めての QRP にての参加。コンディションもまずまずにて、良いレポートももらうことができました。

7M4CBF: フィールドデイコンテストにでられなかった分、努力しましたが、QRP 局に合わず少々不安です。又、出力 QRP により聞こえていても QSO にならず、ストレスとなりましたが、楽しめました。

電信電話部門シングルオペ 28MHz バンド H

JG2SON: 運動会がダブリました。さすがに前日の子供の運動会

はでしたが、当日は居留守でコンテストでした。つらい。

JI6DUE/3: 今年もコンディションが悪くぜんぜんでした。

JJ1LRD/1: コンディションが開けず、1 エリア以外は少しだけでした。移動運用でも、もう少しアンテナをグレードアップしないと QSO が増えないような気がしてきました。みなさん、これからもよろしく願い致します。

JG1TVK: 昨年は出遅れたあけくに急な出勤でリタイアしたので、今年はそうならないようにして望んだものの、翌朝寝坊してしまった。これがどのように響くか?? 尚、参加局が少ないため、他のバンドの様子を聞きに行ってみたものの、今年の参加局数が全体的にかなり少なくなっているように見受けられた。

電信電話部門シングルオペ 28MHz バンド P

7K2PBB: この時期、5W で沖縄からも呼ばれ、ビックリ。集計ご苦労様です。73 GL

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド H

7K4TSJ: あまり参加者が多くなく少し寂しい感じでした。

JG2WIL: 長く続けるようにがんばります。

JI1ALP: 家事都合にてフル参加出来ませんでしたが、18 時間の運用でそこそこ楽しめました。この時期、子供が運動会の方も多く、「任意の 6 時間参加部門」などあったらもう少しアクティビティが

あがるかも？

JP1LRT: 最初の 3 時間の交信局数で戦意喪失・・・ 来年はがんばります。

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド M

JA2JTN/2: 144MHz, 430MHz はチェックログとして提出いたします。今年は天気もよく海拔 900m の山の上は空気が美味しかったです。

JA7KPI/7: コンテスト的には昨年とほとんど同じパツとしない CONDX でした。あまりにもヒマなので、やけくそになって CQ 連発してたら、JCC ハントしてらしい VK の局に呼ばれてしまいました。よろこんでいいのやら・・・(^;)

JA9RBZ/9: 他のコンテスト同様年々参加者が減っているように感じます。朝方に DX が開けましたがそちらを呼んでいる局の方が多かったような気がします。

JE1MWM/1: 集計ごころうさまです。

JE4NJO/4: アンテナの実験ができました。

JF1VDI: 今年の 50MHz は出ている局が少なかった。

JG5DHX/5: 参加局の少なさが気になった。

JH5UPI/5: 締切日が違ってきましたが、その訂正は JARL ページのトップページに書いてください。

JH9UJB/1: 三連休のせいか参加者が少なく感じられた。どのコンテストでもそうであるが、6m

の場合参加者は殆どコードナンバーが M (三アマ) 以上。四アマがコンテストに参加しやすい環境をどうやって作るかが今後の課題。ゆっくり考えてみたい。

JJ2GVL: 今年も楽しく参加できました。

JM1TDG/1: 発々が動かず、ひやひやししながらバッテリーで運用しました。なんとか、無事帰れました。

JQ1AHZ/2: 昼間はいい天気でしたが、夜は風が強くて参りました。

JR1ERU/1: 年々参加者が減少しているようでスコアをだいぶ落としてしまいました。でも、天候も良く楽しめました。

JR1GSE/1: 数年ぶりにコンテストを楽しめました JR2WBT: 地元の行事があり、フルタイムの参加が出来ず残念でした。

JR4FLW/4: 年々参加局が少なくなっていますね。特に 3 連休になったらさらに減っています。

JR4QPD/4: 土曜日は快晴無風、気圧の谷通過のため日曜日昼より荒天、強風のためアンテナが崩壊、残り 2 時間を残しリタイアしました。

JR8OXT/8: バンドの中がすごい静かだった。バンド内の一番強い信号が VK のビーコンだったのは寂しい限り。

JA1NWE: JARL NEWS 9. 10 月号の提出締切日が 10 月 23 日となっていて面食らいました。J. N. 11 月号の訂正文を見て慌てて提出できました。

JA1NZN: 参加者が少なかった

のは残念。手書き LOG は時代遅れですね。エクセルなど汎用的なものでも提出フォーマットでも良いのでしょうか。

JA5UAA/5: いつもお世話になります。次回もよろしく願います。

JL4CUN/4: コンテストはやはり 18 時間にしてほしい。時間が長すぎる。ほとんどの局が途中でやめるようである。

JL0RLL/0: 天候も非常に良く、移動日和でしたが年々参加局が少なくなってきているようで、寂しい限りです。

JA5RCT/5: 締め切りは、23 日ですか 28 日ですか。印刷が分かりにくいのですが、以前は曜日が入っていましたが、もし 23 日だと他のコンテストと比べても早くないでしょうか。

JG3RCE/3: 社団局運用の合間にオペレートしました。AM 運用の局がおられまして感動しました。

JJ3TAE/3: 集計ご苦労様です。いつもコンテストを楽しんでいます。

JE6LML/6: QRV している局が少なく、ほとんどがマルチでした。

JA7KHQ/7: 1 時間だけの参加でした。参加局が少なく、ちょっとさみしいコンテストでした。

JM3AYY: コンテスト時はいつものことながら仕事と家族サービスの合間を見ての参加です。かつては、移動でがんばっていたのになぁ-と思っています。コンテストをきっかけにまた RX の前に

すわれるようになりました。

JA3JY: 参加に意義ありと交信数 3 局ですが提出いたします。JA3KM さんとは 75 年 8 月の 21 メガ以来 27 年ぶりの 2nd QSO でした。

JH2GMK/2: 限られた時間でのオンエアではこんあものでしょうか? それにしても参加局が少なく感じました。

JH0AHI/0: 全市全郡コンテストの移動運用は、時期的にも時間的にも厳しいものがあります。

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド P

JA3XQO/3: すべて 6mAM のみで運用した結果です。

JF1ABZ/1: 今回も何とか参加できました。これからも地道にチョコッとでも顔を出せるようにがんばります。

JO3EMC/3: 長らく休止状態でしたが、今秋ようやく再開の一步を踏み出すことが出来ました。春から半年間コールを失効してしまう失態を犯したのが、逆に再開のきっかけを作ってくれた形です。また少しずつ設備も整えながら、オンエアして行けたらと思います。

JR8DAG: 全市全郡コンテストにおける札幌市周辺の 6m は、ここ 5 年ほど開始時刻の 21 時になっても信号が全く聞こえない状態が続いています。さらに Es も発生しない中、200mW 以下の QRP で 9 局交信できればまずまずかなと思っています。

JE1OOV: QRP でがんばりまし

た。

JH2FOR: 10 月 23 日の夜やっとログサマリーを書いてヤレヤレと思って提出締切日が今日とわかってビックリ! 泣く泣くゴミ箱に。ところが CQ 誌を見てなおびっくり。一番大切な締切日、ミスプリントがないように希望します。

JP2IVQ/2: 今回は天王山 (537m) 山頂から運用しました。楽しく移動運用出来ました。天気に恵まれたので良かったですが悪いと運用場所が変更になるので出来ません。なんとか運用場所変更を考えて下さい。

JH4WMP/4: 仕事が終わって 3 時間程度の短時間しか参加できませんでしたが、楽しめました。車のルーフサイドから伸ばした 1.3m の Wire+5W の Sigs を受信していただいた奈良県生駒市桜井市移動のお二人耳に感謝、感謝!! ALL JA は、もう少しまとめた Ant でフルタイム参加するつもりです。皆様ヨロシク! 関係者の皆様、御苦労様でした。

7L1MPQ: 今回も QRP の 2W 出力で参加しました。いつもの 50MHz と違い、いろいろな局が聞こえてびっくりします。パワーがあれば、と思うときもありますが (10W は出せます)、団地住まいのためもあり、I を出さないためにも QRP でいってみるつもりです。

JA3QVQ/3: 全体に参加局が少ない。QSO パーティーは 20 局でワッペンを発行しているが、コンテストも一定以上の局数か点数に

はワッペンを発行してアワードでも発行してはどうですか? 10/13 は時間が PM3:00 位が限界。

JK1TCV/1: 集計御苦労様です。

JL7MYQ/7: QRP 運用を楽しみました。1W 出力でも、けっこう遠くまで電波が届いたのでスコアはいまいちですが、満足できる移動となりました。

電信電話部門シングルオペ 144MHz バンド

7N4BRG/0: 念願の横手山移動。満天の星空の下 1st 局に多数お声がけ頂き FB でした。シングルオペで 24H はきついですが、短時間の部門があると良いです。

JA1WHG/1: 東京都および政令指定都市ナンバーが煩雑過ぎると思う。

JA7AEM/7: 5 局だけですがログを提出します。

JA7WXL/1: 次回もがんばりたいと思います。

JE0IBO/0: 旅行先の新潟市から QRV しました。夜のみ参加となりましたが、思ったよりも参加局が少なかったです。

JE3CSO/3: 次回もがんばりたいと思います。

JE7NZB/7: 参加者増加の対策をお願いします。

JF6YWY/1: 九州からの移動でしたがコンテストの初参加を体験しました。場所も最高なところで運用でき、今後はこの経験を生かし九州で参加して行きたいかな? しかし疲れしました。

JH7DWU/2: いつもの意見で

すが、移動運用を主としているため、24 時間コンテスト（特に夜 9：00 終了）は辛いものがあります。時間の再考を願います。

JI1AQY: 次回もがんばりたいと思います。

JO6UVN: はじめて電子ログでの提出です。このために参加しました。電子ログが上手くいけば、次回からはコンテストの方もがんばります。

JN7XQN/7: このコンテスト（他のコンテストについても）QRP, QRPp(1W 以下)の部門があれば山岳移動局としては嬉しいのですが。。。。同じ移動でも、車で大きなアンテナ+50W(?)局と同じでは、天気・電源・時間等又、狭い山頂で廻りの人に気をつかいながらの運用なので。。。又、144・430 は山頂にいますと 24V 車と間違われるいろいろな、楽しそうな交信（時にはコールサインもない）が強く入感し、運用を止めることがしばしばです。あげくにはここは俺たちの周波数だ!などと。。。出来ればコンテストの時ぐらいはコンテストバンド以外のところで、よもやま話にふけていただけないものかと思いますが。講習会でコンテストの話も出ないようですので（2 日間ではしかたないか）そんな局（？）のためにも講習会免許は 5W 以下までとかならないのでしょうか（もっとも 4 級でも RIG はなんでも買える）。

JN4KPB/4: 上天気に恵まれて良いコンディションで行えた。そこそこの局数でまずまずというところ

でした。

7M1RMB: 休日の家族サービスの合間に参加しました。交信局数が少なくても参加することによって、初めての局長に会えたりするので。。。。。

JK1HCG: 局数が少なくなっているのが実感しました。

JH7DMS/7: 晴天でコンディションが良くがんばりました。

JL7LYN/7: 久しぶりにコンテストに参加しました。準備不足でした。次回はもう少しがんばりたいと思います。

JA0IMK: 144MHz 帯 FM のコンテスト参加局は前年より減少。2 日目 (10/13) 夜はラグチュー局は聞こえるがコンテストの参加局は CQ 出しても応答なし。

JL1DLX: オンタイムと同時に QRV。しばらくは混信もなく楽しめましたが一時間もせず、前後の近接の混変調で苦になりました。参加局が多いと思えば我慢もできますが、それにしても局数伸びず!

JN2MPP/2: 今年はコンテストの日に、ローカル局と 144MHz にて、岐阜県内移動サービスを行い、コンテストに参加すること考えていませんでした。深夜に 3 局とだけ交信しましたので、とりあえず、ログを提出します。来年は参加しようかな!!

JG5ETN/5: 今回のコンテストは充実した移動運用でした。しかし毎年参加者が少なくなっている様な気がするのですが?

JN4AIW: 時間がなく参加のみです。

JE4KHQ: 仕事の都合上、参加しても今回は残念でした。

JK4AMX: 参加される局が少なくなりました。

JE2LWP: 全市全郡コンテストは毎年自宅から参加しています。参加だけはしましたという結果でしたが、コンテストはやっぱりいいですねー。

JN2VBA/2: アパマン局なので、車からの移動運用しか出来ません。早く、固定局から ON AIR したいです。

JL4SXA/4: 144MHz のシーズンが終わったのか、コールバックが少なくなり局数・マルチとも過去最低の結果でした。

JJ8UDA/8: 天気のも恵まれて、大変楽しい移動運用でした。

JO7FVR/7: 鳥海山山頂 (2203m) からの参加。アローライン (サガ電子) が給電部のトラブルで、ハンディホイップでコールすることとなってしまった。でも 8 札幌や 0 長野野沢温泉モバイル等意外なところと交信でき楽しく QSO できた。

JI4SQA/4: 今年は、天気も良いし、楽しく QSO できました。ただ、声を出す人が特に少なくなったのが残念。

7L2TIF: モービルホイップにてお声掛け程度の参加でした。新しい局のコンテスト参加がなかなかなく、寂しい限りです。

7M4POI/1: 久々のコンテスト参加で疲れしました。コンテスト参加局が少ないです。

JH9FIO/9: JN. 9.10 の締め切り 10/23 日にサマリーを書こう

として、間に合わないとおきらめていたが、JA9 TEST PH(これも JN. 11 がまだ届いていなかったため、エライ目にあった)で JK2VOC(彼の所には 11/3 に JN. 11 が届いていたそうです)に QSP もらいました。

JI1FXP/0: 提出締切日の訂正にはまいりました。こんなに早い締め切りとは思わなかったので間に合わずおきらめていました。

JQ2WDQ: V,U の SSB 部門があっても良いのでは?

電信電話部門シングルオペ 430MHz バンド

7N4GPQ/1: 運動会シーズンの為、初日だけの参加でした。

7N4LXB/1: 今回は折りたたみ式八木アンテナを自作し裏山からのお手軽運用でした。機材が全てリュックに収まるので気楽に移動できましたが、アンテナの固定方法に難があり、結局手で支えての運用となりました。今回はこの点を解決したいと思います。

JA8NNT/1: 今回はシングル参加でした。だんだん参加人数が少なくなっている様です。楽しくコンテストに参加できました。またよろしく、お願いいたします。

JE1MPR/1: 最近はどのコンテストでも同じ傾向ですが、参加者が少なくなっているようで少々寂しかったです。

JE1SHM: 国内局オンリーではなく、海外局の参加も可能にしてほしい。

JE4RXL/4: 今回のコンテストは局数が少なく寂しかった。

JH1QPJ: リグのトラブルがあ

ったり大変でした。

JI7UYA/1: 今回 10 年ぶりに参加しました。

JJ1KNR: 今年も参加しました。交信局数は少なめですが、楽しめました。

JQ1KWE: 次回もがんばりたいと思います。

JR1TOK: 次回もがんばりたいと思います。

JR9HCV/9: 仕事の都合であまりよい移動地に行けず部分参加でしたが、それにしても参加局の少ないのには驚きました。メインの 430MHz FM はほとんど壊滅状態で、new JCC/G もありませんでした(徳島と広島が聞こえたのに交信できず)。SSB は少ないながらもまあまあでしたが。。。

JS1TJZ: コンピュータトラブルで午前中運用出来ないと言うアクシデントがあったが、マルチ 100 越えて嬉しい。普段もコンテストの様バンド内が賑やかになって欲しいです。

7L1JNB: 今回も短時間の参加になりました。

7L2BEI: 西方向のマルチが伸びず残念。

7L3DCW: 一時間程度しか参加できませんでしたが楽しめました。

7M1URA: 次回もがんばりたいと思います。

7M4HXE: 仕事があるので途中で中止、今回はフルタイムで参加したいと思います。

7N1MJH: 参加人数が減少傾向にある中、コンテストの種目を増やすと競技としての面白みが薄

れてしまいます。再考をお願いします。それと、e-mail によるログ提出ですが、独自のパーサを使用されているのでしょうか? ログデータの部分もふくめてきちんと XML 規格に準拠した形で厳密にフォーマットを規定してほしいものです。具体的にはスキーマを公開すると良いでしょう。

JH7JMW/7: 7 エリアの場合、1 エリアの近くで運用するのみ。勝利はできず。各局の意欲が無くなり、コンテスト参加局が激減している。前年の実績に基づき係数(各都道府県別)を決め全国規模にした方が参加局が多くなると思うがいかなものだろう。

JJ0TKG: 来年は 10 局を目標にがんばろう。

7K4OLH: 今回は終了 5 分前まで忘れてしまい、参加しただけとなってしまいました。

JA9MPK/9: 仕事のため、13 日午後からの短時間の運用になり、局数及びマルチが増えませんでした。

JP2BOQ: 天気の良いためか、ダクト? みたいに FB に交信できた。

JN3KDO: 今回のコンテストは 10 月 12 日(土)に集中して QSO 出来ましたが、13 日(日)は、非常に少ない QSO で終わりました。QRP で固定で運用しましたので、今回は移動運用も考えます。

JO7EXK: 2 日目の朝からは、用事があり出られず残念! 次回も出場いたします。

JI5SAO: 本年度は移動に行けませんでした。あいている時間にハンディーで参加しましたが、あま

り局数がかせげていません。来年度はできるだけ移動に行きたいと思います。今後も参加して行きます。

JG7WRU/1: 集計おつかれさまです。1 エリアでの参加は初。さすがににぎやかですね。

7L4FRE: 三年ほど前に比べて参加者が少なくなりました。私は今年は忙しくて夏のコンテストに参加できませんでした。このコンテストにはこのコンテストにはやっと参加することができました。

7N4CYT/1: アマチュア無線をやる人が年々減って、得点が稼げなくなってきている。残念なことです。

JN4PMO/4: ハンディー機とアンテナとカメラ三脚を持って、短時間ですがコンテスト参加となりました。山頂からは各地に局の方々ががんばって参加運用されているのがよく聞こえました。

7K4ECG: ありがとうございます。

JJ1GUM: 局数は少なかったですが、楽しめました。

JJ7AQH: ここ数年、参加局数が右肩下がりに減っているのは誠に残念。特に当局常置場所の周辺の局長さんの声が聞こえなかつのは悲しい。(土)~(日)~(月)と3連休の時にコンテストというのは、かえって不参加が多いのではないか?!

7M4PEQ/1: 集計おつかれさまです。

7L1PNG: 昨年とは、アンテナを変えて、飛躍的に交信数が増えました。アバマンハムで、ロケー

ション悪く、応答のみの参加でしたが、充実感に浸りました。

JP2GJS/2: 1200MHz BAND 以上のマイクロ波帯のみのコンテストを全国的に実施する考えはありますか?

電信電話部門シングルオペ 1200MHz バンド

7L1FFN/2: 去年ログを出し忘れたのでその失態を挽回すべく、ほぼ同じ場所から同じ設備で運用しました。結果は、昨年の198局×101 マルチに対して今年は210局×132 マルチ。ということは、皆さん! 「会員数が減ったから参加局数が減った」という言い訳は成り立たないのです。(意見) 1200MHz バンドも全国1位の表彰を復活させてほしいです。あとから気づいたのですが、ガクッときました。期待しています。

JA0WAE/1: 初めての1200MHz 参加、静かでした。

JR1MRG: 今年は1200MHz シングルバンドで参加しました。

JS3OSI: 締め切り日が10月23日になっていて間に合わないとおきらめていました。JARL NEWS 11月号でどうにかログが提出できるのが11月8日と知り、ほっとしました。

JJ4HKA/4: 3年ぶりに1200MHz FM で参加しました。交信局数を伸ばすことができず、前回の1/4ほどで終わってしまいました。

JA3KDJ/3: のどがかれても局はでてこない。又、テレホンカー

ドを配りますか(今はクオカードかな)。参加できることに喜びを感じています。

JK8TOE/1: とってもがんばりました。

JL3YAE/2: 個人局コールは「移動しない局」なので、クラブコールを使ってシングルオペで移動して参加しました。13日の名古屋は快晴でポカポカ陽気で少々暑かったです。

JJ4EAW/2: あまり局数出来ず、早めに撤収してしまいました。

電信電話部門シングルオペ 2400MHz バンド

JG3LJG/1: 都合で移動できず、自宅からの参加でしたが、コンテストを楽しませて戴きました。

JH1HEK/0: 今回のコンテストは2日間天気恵まれて最高でした。日中の温度は18度、夜間は1度でした。来年も参加しますのでよろしく。

電信電話部門シングルオペ 5600MHz バンド

JA5JSU: 次回も参加したいともいます。

JA5REF/5: 急な冷え込みに、例年になく体が凍える思いをしました。

JA1KKL/1: 10月12日夜、筑波山に登りましたが、RIGの調子が悪く夜中に下山するなどきびしいスタートとなりました。駐車場に戻り再セットアップすると異常なし。後日色々再現テストをした結果、夜露によるコネクタの絶

縁不良と判明した。

7K4NWW/1: 12日の夜はたいへん晴れていて、それだけに寒い夜でした。2,3年前はそれなりに運用する車が多かったのですが、今年は私一人。寂しいコンテスト運用でした。

電信電話部門シングルオペ 10.
1GHz バンド以上

7K3OHU: 昨年は5GHzに参加でしたので今年は10.1GHz参加と致しました。帰りの道路渋滞を考えて早く撤収のため局数が少なめでした。参加することの大事さを痛感致しました。

JR5EEK/5: 愛媛県伊予市に移動、SHF帯で各局と楽しい交信が出来ました。

JJ6DRF/6: 2.4GHz以上の空中線電力は2W以下しかないので省略、もしくは分割をお願いします(1W超,1W未満,0.1W未満等)。

電信電話部門シングルオペシルバ-

JA1KK: HFのハイバンドとV・UHFでは参加局が少なかった。7MHzに1極集中したのだろうか。

JA2RM/1: 参加者激減。特に1200MHz。移動時でもアンテナを高く上げれば10Wでも危険はないのでないか? モービルの連中は、現実に1W運用とは思われない! 144MHz以上のFMチャンネルでは、お守り(ルスパン)チャンネルで、「キャリア妨害」が多かった! コンテストに出ず非常に

不愉快なキャリアの出し方で妨害を楽しむ者多数!

JA0CBE: 好天に恵まれた割合にあまり移動が多くないのか、中・遠距離の局聞こえず残念!!

JA7QPG: おかげさまで楽しませてもらいました。年4回の最後のコンテストでがんばりました。ただ4アマですので電信が出来ませんのでざんねでした。

JA0BNP: 久しぶりにこのコンテストにオールバンドで参加した。HF帯の7MHzは、相変わらず混雑していて割り込む余地はない。21MHzもコンディションが悪い、結果的に17時過ぎに切り上げたが、コンテストの集計で驚いた。1999年の第20回コンテストと交信局数は同じ、マルチが1つ少ないだけだった。

JM6BYV: 用件のため、13日は運用不能でしたのでせめて23回(局)を祝しました。

JF3LOQ: OMの皆様キャリアが少ないですが、シルバーも2年のキャリアになりました。大阪のオッサンですが先々色々な面で先細りが心配です。どうか各面で大いに育てて下さい。

7N2DFV: 都内局数あと一寸、残念でした。7コールも少ない。

電信電話部門シングルオペ SWL

JA1-22825: 提出期限が短すぎるように思いますが。危うく。。? e-mailでだしてみました。

JR7HOD/1: 今回は時間がなく、急遽SWLで参加しました。

JQ6AAY: 地声が大きいので

SWLで参加しました。SWLのドナーをだれかだしてください。SWLは少ないので、よろしくお願いします。

JA4-37294: 今年はHF3バンドのみで受信しました。そして、良かったのは7MHzでAJDでコンテストアワードが申請できてうれしいです。バンドごとにAJD達成は難しいですが、チャレンジします。

JA2-9329: アクティブなコンテストありがとうございました。充実しました。

7L4MQS: 今回のコンテストは、SWLとして参加しました。どのコンテストにもいえる事ですが参加局の減少が顕著になっているようです(特にV・UHF帯)このままではコンテストの参加局の減少が続き、コンテスト自体の存在価値がなくなってしまうのではと思います。その原因としては以前よりもアクティブに運用する局が減った事や若い年齢の局のコンテストへの参加が減った事が一番のように思います。コンテスト自体もマンネリ化した雰囲気があるのでコンテストの開催方法や規約をどの局でも参加しやすいように見直す必要があるのではないのでしょうか? これには一部の局だけではなくさまざまな局から意見を求めることが大切です(主催はJARLですが参加するのはアマチュア局だから)。JARLだけに頼らずアマチュア局がもっと協力して新しいコンテストのスタイルを作ってもいいと思います。コンテスト委員の方は集計作業ご苦労様です。

電信電話部門マルチオペオールバンド H

JA1ZGO: 大票田であった 50MHz ,430MHz がガラガラ ,すぐに周波数が確保できる状態。寂しいコンテストでした。

電信電話部門マルチオペオールバンド M

JA0RL/0: 「チェックログ」として提出します。高校生 4 人を含む合計 15 名のチームによる ,JARL75 周年記念運用として参加しました。本当に楽しいコンテストになりました。

JA1YAD: 昨年よりはすこし交信数が伸びて良かったです。

JA3YAA/3: 相変わらず参加局が少ない印象ですね。

JG2ZUP/QRP: 集計お疲れ様です。今回始めてマルチ OP の QRP5W で参加しました。全バンド 5W でしたが、予想以上に出来メンバー一同驚きました。ただ OP の人数が少なく、メンバーの都合上途中で OP が来たり、帰ったりで本格的に揃ったのは、終了 4 時間前でした。

JM1ZJI/1: 舞岡公園の大部分は戸塚区に属しますが、今回の運用地の東南部は、標高は高いエリアですが港南区になります。荷揚げ、設営に 2h もかかり、実質 3h 程の運用でした。14MHz は賑やかだったのですが、20 分のみの運用で残念。144MHz はリグのトラブルがあり、氣勢をそがれました。21MHz 以上では DX は開けませんでした。

JM1ZOR: 書類提出の締め切りは 1 ヶ月後の同日 + 1 日にすると提出忘れが救済できます。

JR4ZUZ: 楽しく参加させていただきました。

電信電話部門マルチオペ 2TX

JA1YOT: 学校の方針変更による 2 部統合のため(昼夜開講制), 芝浦工業大学二部無線部としては、最後の参加となりました(恐らく・もしかしたら来年ぐらいまでは出れるかもしれませんが)。交信してくれた皆様ありがとうございます。当初、最後なので移動して勝ちに行こうという話もあったのですが、人数不足でいつもどおり部室より、今回は 2TX で運用させていただきました。それなりに楽しめたのではないかと思います。今後は同無線部 OB 会という名で運用したいと思っております。お空でお会いしましたら改めてよろしくお願い申し上げます。

JA8CDT: ハイバンドのコンディションが思うようにならず局数を伸ばすことができませんでした。

JA8RWU: JA8RWU, Akira Asai: 何十年振り(?) かで ACAG に出てみました。実は、M2 の実験を兼ねての遊びです。夜中から朝まで寝て、夕方に終了でしたが VSE のがんばりでとりあえず 1000 局いきました。私にとって 2TX 同時発射 @ RWU と zLog は初体験でした。機会をみて国内コンテストもその内、フル OP したいところです。JR8VSE,

Osamu Sasaki : コンディションは 21MHz まで幾度かオープンがあり、最近にしては良い方だという感じがしました。今回は用事もあり、2TX といえども終始出ていた訳でもなく、運用時間としては短かったですが、運用中は気合いれてました。

JH1YHS: 転勤でばらばらになったメンバーが久しぶりに集まって参加しました。

JH6ZRL: 意見 コンテスト委員会 殿 11月6日 JARL 福岡県支部 支部長 佐々木正文 JARL 福岡県支部は、「JARL 創立 75 周年記念局」として JH6ZRL を県内各地にて運用しております。この局は「アマチュア無線の出前授業と社会貢献」と言う趣向で、アマチュア無線と言うものを少しでもたくさんの人、とくに青少年並びに初心者の方々に理解して頂こうと広報し努力している所であります。今回、「第 23 回全市全部コンテスト」に参加させて頂き多くのアマチュア局と交信して JARL 創立 75 周年を PR し、青少年等見学の方々にもアマチュア無線のもう一つの楽しみ方として提示することが出来、興味を持って頂いた事は、運用者にとっても、うれしい限りでございます。さて、慣習によると、連盟が開設するアマチュア局が連盟の主催するコンテストに参加した場合には入賞はともかくも、審査もして頂けなく、チェックログのみで順位さえ発表されないとのこと。理由は漠然と「会長が会長に賞を贈るのは変である」とのことらしいで

す。しかし、局自体は「連盟が開設する局」であるが、其れを運用するのは会員個人であり、それぞれ自分の個人局での参加を諦めボランティア精神で連盟及びアマチュア無線の普及広報のため参加したのです。また、初心者には普通の交信とは違った楽しみ方を教えることが出来ました。現状では、初心者がいきなり個人でコンテストに参加するのは難しく「連盟が開設する局」にて参加することは、クラブにも入れない初心者が体験するには、良い機会だと思われれます。コンテストはそもそも順位を争うのが本質であり参加した以上、順位はどれくらいに成るかとかわくわくしながら、みなさん交信しているものです。その結果は個人の努力の成果であり、その記録が残らないのはあまりにも虚しく、これでは、参加者、とくに若年者初心者にとっては「折角やったのに、バカバカしい、つまんないや」と感じてしまうのは致し方ないことだと思います。これ

では、折角興味を持ってやって頂いた方たちの興味を削ぎ、しいては、無線離れのきっかけとなるでしょう。順位を付けないのなら、「連盟が開設する局」の参加自体を禁止すべきだと考えます。交信相手にのみ点が与えられるのは、不平等です。しかして、これまで参加許可していたのが実態です。むろん、万が一の入賞は辞退するのが筋だと思います。そこで、私たちは次のことを要望いたします。・「連盟が開設する局」であっても書類を提出すれば、入賞に値する場合入賞は 辞退することを前提に、順位は付けること。この旨は、JARL 事務局にも具申し了承を得ております。コンテスト規約を時勢に合わせて改正していく柔軟性をお持ちのコンテスト委員会ですからきっとおわかりになって頂けるものと考えます。古色蒼然たる慣習にとらわれず、新しいアマチュア無線のあるべき姿を、お示してください。以上 文責 JR6QHM

JH8ZVQ: コンテスト参加局数が年々減ってきているようで残念です。参加意欲がわくような企画を取り入れてはいかがでしょうか。ex. 1. 協賛を募り、ログ提出局から抽選をして商品が当たるようにする。2. 出力による得点差を設ける。3. 移動局の得点を常に2倍カウントする(フィールドデー形式)

JI2YUF: ここ数年のコンテストに関して、特に無線人口の減少が表れているような気がします。

JI2ZNP/2: 2波部門に初挑戦でした。天候に恵まれ楽しい移動運用ができました。

電信電話部門マルチオペジュニア
JN1ZST: 今年は、中学生以下ジュニアオペ部門日本一に挑戦して9時間参加しました。

JO1ZHQ: 全国的に全てのバンドできて、面白かった(いい経験になった)。

JARL CONTEST REVIEW

2002 全市全郡コンテスト

発行所：日本アマチュア無線連盟コンテスト委員会

発行日：2003年9月

編集者：JR1LQK 土屋 勝 (jr1lqk@arrl.net)